

# 城陽未来まちづくり会議 (55人委員会)

## 報告書



城陽イメージキャラクター  
「じょうりんちゃん」

平成29年(2017年)1月  
城陽市 企画管理部 秘書広報課



## 目次

---

1	城陽未来まちづくり会議の実施概要	2
2	城陽市が目指すエコミュージアム	4
3	会議全体の流れ	6
4	私の好きな城陽	7
5	企画書づくりに向けて	12
6	各班企画書	13
7	まとめ	30
	資料編	34

## 会議開催の目的と位置づけ

城陽市では、これまで行政に声を届ける機会が少なかった市民の方に、市政への参加を促し、その意見を取り入れること、またそのことを通じて市民意識の高揚を図り、市民活動の担い手の掘り起しにつなげることを目的に平成26年度から「城陽未来まちづくり会議」を開催しています。

このため、会議での意見については、諮問に対する答申や提言といったものでなく、「幅広い市民の声」として位置づけられるものとなります。

## 参加者の決定

### 参加希望者の選定

住民基本台帳から市民1,800人を無作為に抽出し、城陽未来まちづくり会議への参加依頼を送付しました。あわせて会議についてのアンケート調査を実施しました。

### 参加募集の人数

55人

城陽市が京都と奈良のほぼ中間に位置し、古くから「五里五里の里」と呼ばれることにちなみ、55人としました。

### 参加希望者の決定

参加依頼の結果、承諾を得た55人に決定しました。

### 参加者の属性

今年度の参加者の属性は下表のとおりです。

	久津川地区		寺田地区		富野地区		青谷地区		合計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
10-20歳代	1	1	2	3		1		1	9
30歳代	2	1	9	1	2			1	16
40歳代			2	1					3
50歳代	1			2	2	1			6
60歳代	1	2	3	3	1				10
70歳代以上	3	2	2	3		1			11
男女別計	8	6	18	13	5	3	0	2	55
総計	14		31		8		2		

(単位：人)

## 城陽未来まちづくり会議の概要

会議の概要を以下に整理しました。

- テーマ：「エコミュージアム」
- 開催日：平成28年10月8日（土）10：00～16：00
- 開催場所：文化パーク城陽 東館4F 大会議室
- 会議形式：参加者55人を7つのグループに分けた班ごとの意見交換
- 会議内容：班ごとのアイデア出し、意見交換、意見の集約、企画立案、発表

## 会議における意見のまとめ

会議の前半は、城陽市にある地域資源を改めて発掘するため、城陽の魅力を幅広く出すことを目指しました。後半は、それらの魅力を掛け合わせることで、新しい視点や自由な発想の企画を数多くいただくことができました。今回の会議でいただいたご意見に基づき、城陽市として取り組むべきものについては、既に実施している施策との整合性を図り、施策への反映について検討することとします。



## 2 城陽市が目指すエコミュージアム

### エコミュージアムによるまちづくりの背景

日本文化の中心である京都から五里（約20km）、奈良から五里（約20km）のちょうど中間に位置する城陽市は、古くから「五里五里の里」と呼ばれ、これまで京都・大阪圏のベッドタウンとして発展してきました。交通の要衝として古くから重要な役割をはたしてきており、先人が築き上げてきた豊かな歴史資源に恵まれています。比較的狭い範囲に縄文時代から奈良時代の史跡がまとまって所在する地域は全国的にもあまりみられないため、文化庁からも各時代の人々の営みを史跡を通じて実際に体験できる貴重な地域という評価を受けています。

城陽市では、1996年の8万6千人をピークに人口が減少に転じ、少子高齢化の流れは年々進行しています。また、数多くの歴史・自然・産業などの地域資源を有しているものの、市民や市外からの観光客に十分に認識されていません。

しかし、平成29年には新名神高速道路の「城陽・八幡間」が開通することとなり、平成35年度には「大津・城陽間」が全線供用開始されるこ

とに合わせ、ジャンクション・インターチェンジに直結する新市街地や東部丘陵地を中心に、商業・工業・流通機能をはじめとする多様な都市機能の集積が進みつつあります。

さらに、JR奈良線の複線化による鉄道網の充実も進むなど、今後かつてない交流人口の大幅な増加が見込まれることから、新たなまちづくりに向けて大きな転換期を迎えています。悠久の時を経て今再び交通の要衝となるこの絶好の機会を捉え、市民はもとより、府内や全国から来訪する観光客等に、城陽の魅力を発信し、それを活かしたまちづくりを進めていく必要があります。

エコミュージアムは、地域全体を「生きた博物館」として捉えるまちづくりの考え方で、城陽市の今後のまちづくりを進めていくための基本的な枠組みとなります。

### エコミュージアムによるまちづくりの目指す姿（基本方針）

市内各所にある歴史・自然・産業などの地域資源の掘り起こしから始まり、保存、活用へとつながっていくことで、市民ひとりひとりが「城陽市はどのようなところなのか」「城陽市にはこんな素晴らしいものがある」ということを再認識し、住み続けたいまち、ふるさとに帰ってきたいまちを目指します。

また、市民ひとりひとりが城陽市に誇りをもつことにより、さらに城陽市を良くしていこうと、エコミュージアムという方法で市民自らが地域を活性化していくための取り組みを行っていただけるまちを目指します。取り組みにおいては、

城陽の未来を担う子どもが活躍する場の創設についても目指していきます。

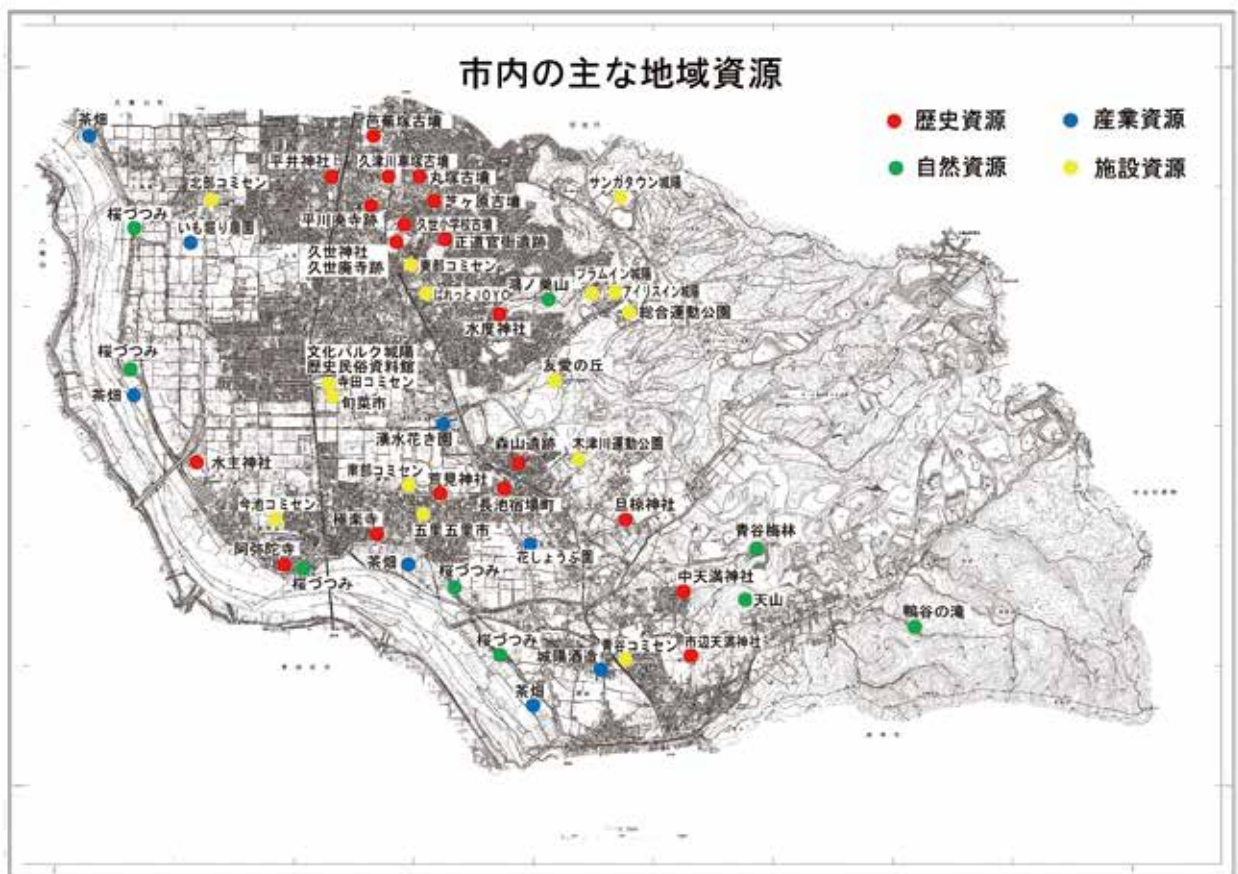
さらに、城陽市の魅力を広く市外に発信していくとともに、市民の主体的な参画により地域資源の積極的な活用やイベントの開催などを実施していくことで、市外から多くの人を呼び込むことのできるまちを目指します。



## 城陽市エコミュージアムの展開

城陽市エコミュージアムを構成する地域資源や地域資源を活用したイベントなどは、すでに行政だけでなく様々な市民団体等が所管・運営を行っています。市全体としてエコミュージアムに取り組んでいくためには、行政各部署や各市民団体が連携をとり、城陽市エコミュージアムという枠組みのもと、例えば右のような個々の特色のある事業を展開していく必要があります。

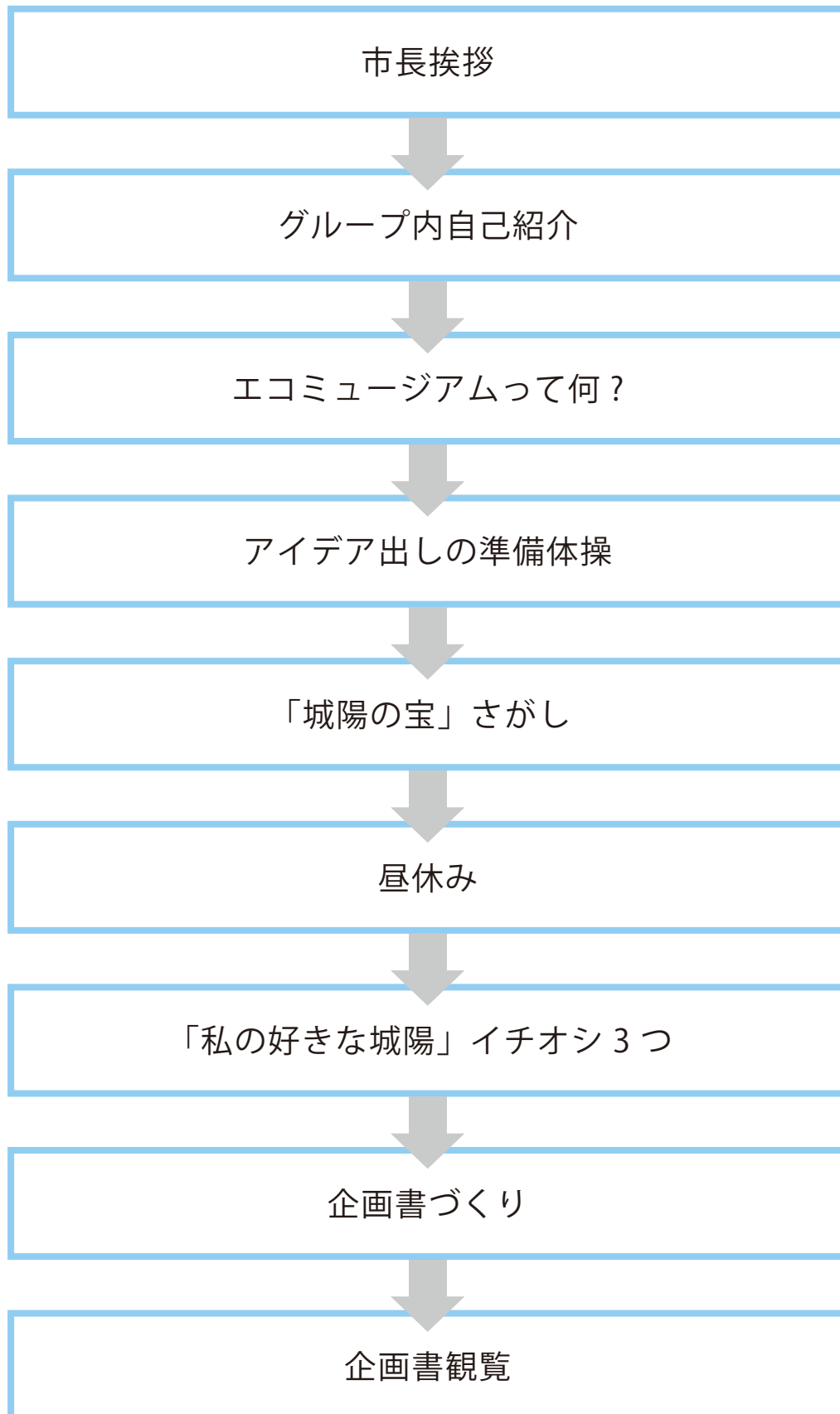
- 城陽市の地域資源の掘り起こしとストーリー化
- 城陽市の地域資源を結ぶルート（ディスカバリートレイル）の設定
- 行政各部署や市民団体等の協力による散策会、体験・探検ツアー等イベントの実施
- 城陽市の特産物を活かした商品開発
- 有機的なつながりをもたせた戦略的なPR活動



※エコミュージアムについては 54、55 ページをご参照ください。

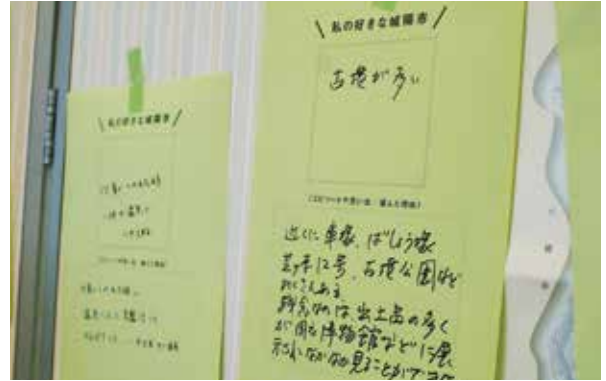
## 3 会議全体の流れ

地域も年齢層も多様なメンバーが7班に分かれ、城陽の魅力を市民目線で出し合い、最終的には2、3人のチームで企画書を作成しました。





城陽の好きなところ、良いと思うところを一人平均12個ほど出し、会場には481個もの「城陽の宝」が溢れました。これらをじっくり読んだ後、中でも自分にとってイチオシの3つについて、選んだ理由やエピソードなどを書いてもらいました。歴史、自然、産業、施設・イベント、その他に分類して、その一部を紹介します。



## 歴史

### 古墳、神社等

出入りに対して制限も特になく、祭りなどのイベントも楽しいので、これからも続けていってほしいです。

### 古墳や遺跡、神社、寺など歴史に関わるものが多い

歴史が大好きで大学で学んでいたのですが、その影響で今でも現地説明会に行ったりしています。最近では、久津川車塚古墳の発掘調査が進んでいてとてもうれしいです。過去の人達が暮らしていた何かを感じられるところがとても好きです。

### 古墳が多い

近くに久津川車塚古墳、芭蕉塚古墳、芝ヶ原古墳などたくさん古墳があります。残念なのは出土品の多くが国立博物館などに展示され、なかなか見ることができないことです。

### 古墳がとても多い

古墳と共存している市民ですが、聞くとところによると200弱の古墳があるとのこと。信じられないくらいの数です。たかだか32km<sup>2</sup>の市域に。これは城陽市特有の個性だと思いました。いにしえの頃より、この地は住みやすく豊かな土地であったんだな～と思いをはせました。

### きれいな神社が多い

特に水度神社が好きで、小さいころから学校の授業や初詣などで何度も行って行っていました。神社の裏に広がる鴻ノ巣山も好きでよく行っていました。

### 古墳群

久津川付近にたくさんの古墳があり、ハイキングやウォーキングコース等のマップを作ったりして楽しめたらいいと思います。

### 古墳群

身近なところに学術的に価値の高い古墳があります。

### 森山遺跡

休みの日に行きます。ゆっくり出来る場所です。

### 水度神社の遊歩道

山ツツジがきれいです。

### 歴史を表すものが多い

古墳が多く、昔の奈良の都と京の都を結ぶ旧奈良街道が通っています。

## 自然

### 景色がきれい

普段の生活のなかでは見落としがちな魅力だと気付きました。木津川などの自然、それらの恵みで育まれた農業、花、上手に共存がされてきたまち、温かい人、それらが城陽の景色を形成し、他にない魅力的なものが生まれているのだと思います。

### 梅林

梅まつり等で訪れると花香りの優しさに癒されます。梅干しは自然の味がいいです。一昔前は青谷のもっと奥まで梅林があって、丘陵地は花で真っ白になっていた、早春の美しい景色を思い出します。

### 夕日が美しい

我が家の生活は主に2階です。もちろん台所も2階にあり、食事も全て2階です。2階の西側に窓があり、そこから見る夕日が素晴らしく沈むのです。夕日が季節により左から右、右から左と移動して季節を感じます。また、木津川堤防から沈む夕日も素晴らしい。生きていることを実感します。

### 地下水が豊富

地下水が豊かなので、ショウブ、カラー、ハス作りが盛んです。飲み水もおいしいです。

### 木津川の堤防

幼い頃、段ボールを使ってした草すべりが楽しかったです（傾斜が急で面白い）。

### 木津川の堤防（桜並木、川遊び、BBQ、サイクリング、散歩）

小さい頃、ツクシやヨモギを摘みに行った思い出があります。毎年、春に桜並木へ花見をしに行きます。散歩にもちょうどいい距離です。

### 花が多い

ハスの花などさまざまな花が育てられていて、疲れたときに少し散歩すると、とても心が癒された思い出があります。

### 水度神社の奥の山を登っていくと鴻ノ巣山運動公園に通じています。途中には展望台もあり景色もきれい

子どもが小さいとき一緒によく登りました。足も鍛えられたし、木の実や花を摘んで楽しい時間を過ごす事ができました。

### マンションが乱立しておらず空が広く見えるので星がよく見える（明かりも程よい）

夜遅くに家に帰る時は、家の前で星を眺めています。疲れた時や気分が落ち込んでいる時に星を眺めると、元気が出て心が癒されるので将来も空がきれいで星がよく見えるところに住みたいと思っています。城陽のような程よい田舎で暮らせたらと思うので、マンションが溢れる地域にはなってほしくないです。

### 自然が多くて癒される

朝、市辺天満宮の近くを散歩すると、景色も空気もきれいで気持ちいいです。

### 木津川堤防からの景色

春夏秋冬、いろいろな景色を見ることができるので心穏やかになります。

### 木津川の堤防

夏は水遊びができ、BBQもできました。春は桜並木もありきれいです。サイクリングもできました。また、自宅から近いので往復しても疲れません。公衆トイレもまずまずきれいなところもありました。家族で自然を満喫できたよい思い出の場所です。

### 自然が豊か

毎日遅くまで仕事をしているので、休みの日に自然を感じる事が出来るととっても癒されます。歩いてすぐ近くにあるので、自然とともに生活しているみたいです。

## 産業

サツマイモ

### サツマイモの芋掘り体験は子どもに楽しい

サツマイモはおいしいだけでなく、城陽では芋掘り体験が出来ます。体験できるのが「肝」で、よそにはない城陽の特徴です。

### 寺田イモがおいしい

芋掘りも小学生のときに体験しました。ときどき頂きますがとてもおいしいです。親戚が食べた時に「なんと金時よりおいしい」と言っていたのが印象的です。

イチジク

### イチジクが安くておいしい

城陽の軒先販売だと1パック300～400円で売っていますが、他で売っていたものは小ぶりで6個598円と高かったです。地元なら安い！うまい！満足！の三拍子!!

### イチジクの生産が盛ん

小さい頃から朝採りイチジクを近くの畑で買って来て食べさせてくれていました。当たり前のように思っていたこの味が実はとっても貴重な城陽の宝なんだ、と大人になってから気付かされました。これからも住み続けていこうと思います。この城陽の発展していく一つのポイントに推していきたいと思います。

### イチジクがおいしい

甘くておいしく、城陽のどこにでもあるイメージがあり、まさしく城陽の顔です。城陽市のキャラクターになっているのもポイントです。

### 完熟イチジク

完熟が食べられるのは産地ならではのことで

梅

### 青谷の梅干し

城陽の特産物はいろいろありますが、昔から

の青谷の梅林とその梅干しを挙げたい。私は梅干しが大好きです。そして昔ながらの田舎で漬けたあの「からい」梅干しがおいしいです。しかし、このからい梅干しが青谷以外では入手できないです。

### 梅酒がおいしい

以前、会社の忘年会で数本だけ出されたのですが、あっという間になくなってしまいました。みなさんおいしかったと言われていたので、自慢できる場所です。

その他

### 地元の酒蔵の地酒がおいしい。蔵開きが楽しい。

酒蔵の近くに住んでいるので、昔から新酒の時期のにぎわいや梅酒作りが身近でしたが、最近、京都市内や大阪でも城陽の酒として売られているのを目にすることが多くうれしいです。蔵開きも年々人が集まるようになってきているので、ますます盛り上がるとうれしいです。

### 人気のラーメン店がある

評判のラーメン屋が何故か城陽市にあります。食べに行くのも便利ですし、そのために他県から人が来るいいきっかけになっていると思います。

### 飲食店が多い

おいしいお店が増えてきているのがうれしいです。



## 施設・イベント

### さまざまな施設があって（子どもの育つ場所、スポーツのできる場所、図書館が遅くまで開いている）うれしい

市民が公共の施設で心豊かに過ごすことによって、まちを心から誇り愛することが生まれると思いますし、親が生活の中で楽しく地域の方々と過ごしている姿の中から、次世代も城陽市で住むことの心を育てると思うので、大切にしたいです。

### イルミネーションがきれい

昔からあり、毎年行っているのので、これからも続けていってほしいです。イルミネーションはやり方次第でさまざまな宣伝が出来ると思います。

### 地域の祭りが多い

小学校の頃から毎年楽しみにしていました。無料で配られる金券や抽選会などもありました。

### 梅まつり

梅の花がきれいで、おいしいものもあり、にぎやかで…。小さい頃、梅の花が咲く時期に友達と一緒に梅まつりに遊びに行っていました。梅ジュースを飲んだり梅ようかんを食べたり、たくさんの方が来ていてにぎやかで楽しかったのを覚えています。

### JR城陽駅

快速電車が停車するので、奈良線を利用するのに大変便利です。

### 子どもたちの遊び場、運動できるところが多くある

文化パーク城陽のアスレチック、鴻ノ巣山運動公園、木津川運動公園などなどボールを持ち込んでキャッチボールができたり、子どもと共に楽しめます。

### 友愛の丘

近いし自然がいっぱい。雨でも屋根があり、BBQできました。夏場はプールもあり涼めます。

### 小さな公園が多い

小学校のころ、友達と毎日のように公園で遊んでいました。知らなかった場所に公園があるのを探すのも楽しかったです。

### サンガタウン城陽の練習場（京都サンガF.C.）

サッカー好き家族にとってプロのプレーを間近で見られて、子どもが小さかった頃「キングカズ」に興奮して大はしゃぎしていたのを思い出します！

### 仕事で疲れたとき温泉で癒される

仕事で疲れたときに温泉に入って、岩盤浴して、のんびりして癒されています。

### 運動公園が充実している

子どもと一緒に遊べます。平日は家族との時間が少ないので、休日にのびのびとゆっくりと時間を共有できます。子どもも体を動かせるし、自分の健康にもよい影響！

### プラネタリウムがある

プラネタリウムがあるというのは珍しいことだそうです。昔、学校の授業で来たことがあったので、そこまで意識していませんでしたが、珍しいといわれるともっとみんなに知ってもらい、利用してほしいと思います。





## その他

### 環境

#### 空気、水がおいしい

奈良と京都の中間点にある城陽市は、古代の歴史をひもといてもわかるように「人々が住み、政治がおこなわれていた」という事からして、住みやすいとても良い環境だと証明されていますので、その財産（昔からの）を大切に守り抜いて、次の世代に引き継げていけるように、大切にしていきたいものです。

#### 適度に田舎で住みやすい

JRや近鉄があり、京都や大阪にも出やすく、交通面での不便さもなく、緑が多く残っていて、特産物も多いので生活するにはとても良い環境だと思います。市外の知人友人も城陽に移り住みたいという人も多いです。

#### 雨が少ない

大体朝に洗濯物を干すと、夕方にはいくら寒い日でも乾いています。（乾燥機はあまり使わなくても大丈夫です）

#### 災害が少ない

城陽に50年近く住んでいますが、これといった大きな災害もなく、静かに暮らしています。

### 人

#### 人が優しい。住みやすい。

周りの方々も良い人が多く、交通の便も京都、奈良から程良く離れているのが良いと思います。

#### ゆっくりと流れる時間

子育て、水資源、農作物…どれをとっても一朝一夕ではできないものばかりです。どんなに急いでもできません。やはり大切に時間を使って作っていき、丁寧に育てていくためには、ゆっくりと流れる人々の思いが不可欠です。

### 子育て

#### 小中学校が多く、子どもを持つ親が住みやすい

小中学校が比較的家から近くにある家庭が多いと感じるので、将来家族と暮らしたいと感じる人も多いのではないかと思います。自分が小

学生だった頃は、公園の数が多く、友人の家も近かったため、遊ぶのに不自由しなかったです。地域の交流も良い具合にあり、夏休みのラジオ体操や夏祭りもあり、安心して子どもを育てられると思います。

#### 中学校まで給食がある

給食センターがあり、パートに出ていた時などは中学校までお弁当を作らなくてもよく、今でも子どもたちはあったかいものが食べられてよかったとか、思い出して話す事があります。

### 交通の便

#### 五里五里のまち

奈良・京都へと五里五里。大阪へ行くのも奈良まわり京都まわりとどちらも選ぶ事が出来ます。

#### 交通の便が良い

京都・奈良・大阪など、たいていの所に30分～1時間以内で行け、仕事に便利なことと、道路、特に高速道路網の発達で近畿圏のゴルフ場は1時間ぐらいいで行けるところが非常に多く、助かっています。

### 水

#### 水がおいしい

自分でもそう思いますし、神戸に住んでいる孫がおばあちゃんちのお水おいしい! と言ってくれます。

#### 水道水がきれいでおいしい!!

私は和歌山から最近引っ越してきたのですが、和歌山の水道水はカルキの匂いが強く、そのまま飲料水として飲むには厳しかったのですが、こちらに引っ越してきて水道水ってこんなにおいしいんだ! と、感動しました! オススメです!

#### 水がおいしい

食品製造業に従事していますが、この水でないとい商品ではできません。多分…。

#### 水がおいしい

毎日口にするものなので助かります。子どもにも安心して飲ませられます。水がおいしいとごはんもおいしい、水は生命の源!

# 5 企画書づくりに向けて

城陽市エコミュージアムで特色ある事業を展開していくため、そのヒント・足がかりとなるような企画書を、城陽未来まちづくり会議で出た意見を生かして班ごとに作成していただきました。

## 企画書作成にあたって

城陽エコミュージアム企画書「城陽の宝を掛け合わせてみよう！」

タイトル		←	タイトルは最後に考えましょう。	
対象		←	対象を誰にするかはっきりさせると、企画がとがってきます。	
城陽の宝	× ×	←	今日出てきた「城陽の宝」を掛け合わせましょう。まったく違うものをあえて掛け合わせると、おもしろい案が浮かぶものです。	
概要	いつ:			
	どこで:			
	どんなことをする:		←	対象と宝を決めたら概要をイメージしていきましょう。また必要な協力者、この企画で大切なポイントはどこか、考えましょう。
	必要な協力者:			
大切にしたいポイント:				
この企画の一番よい場面	コース、タイムテーブル、エリアマップなど			

将来、この企画が実現して新聞記者が取材に来たとします。新聞に掲載されるのはどんな場面？ 企画のハイライトになる部分を言葉や絵で詳細に書いてください。

1 班		イベント	
タイトル	古代人気分!! 物々交換のフリーマーケット		
対象	市民、まつり好き、フリーマーケット好き		
城陽の宝	買い物 × 歴史 × 木津川		
概要	いつ		
	どこで	木津川河川敷	
	どんなことをする	原則物々交換のフリーマーケット。補助通貨として古代の貨幣（貝貨等）を使う（会場貸切）	
	必要な協力者	観光協会、商工会議所	
	大切にしたいポイント	エコ、物々交換	
この企画の一番よい場面		コース、タイムテーブル、エリアマップなど	
物々交換の取引交渉完了の場面		特になし	

### ●見どころ

断捨離や終活など「物の整理」ブームがある中で、不要なものをごみにするのではなく、必要な人に使ってもらうという試みを「古代」をテーマに実践する。多くの市民が四季折々の景色の素晴らしさを評価している木津川河川敷を会場に、古代の貨幣を使うなどフリーマーケットで古代人気分が味わえる。

### ●効果

古代の貨幣を使って古代人気分!というの、城陽市がもつ歴史性を生かすことになり、市外からの注目度と共に、ユニークなフリーマーケットとして

恒例行事になる可能性がある。成功すれば市民の満足度、歴史資源に対する関心も高まる可能性がある。

### ●検討すべきポイント

原則売上金が発生しないため、最低限の運営費を確保するための方法を考える必要がある。また、物々交換は交渉=会話がポイントになるため、会場全体の演出には特に注意が必要となる。例えば古代人気分!の雰囲気を出すために、白い古代の衣をまとう演出など、参加者間のコミュニケーションが活発になる良い仕掛けを考えていく必要がある。

1 班	商品開発	
タイトル	城陽特産!! いちじく水!!	
対象	女性、健康志向の人	
城陽の宝	いちじく × 城陽の水道水	
概要	いつ	年中
	どこで	城陽
	どんなことをする	①農家の方と市民で試作、試飲する ②スーパーや病院などに設置する
	必要な協力者	農家、水道局
	大切にしたいポイント	城陽限定にする
この企画の一番よい場面	コース、タイムテーブル、エリアマップなど	
いちじく農家、水道局、流通業者にメリットがある。「城陽=いちじく」というアピールができ、城陽の知名度が上がる		コース、タイムテーブルなどは不明。エリアは城陽

●見どころ

いちじく農家、市民、水道局などが共同し、城陽特産のいちじくを使い城陽市民に愛される「いちじく水」の商品開発を行う。

●効果

「いちじく水」は、桃水、みかん水など香りや味のついた「水」の流行と新規性があり、城陽限定にしたご当地土産やインターネットによる販売を進めることで、「いちじく産地城陽」と「健康食品いちじく」を同時にアピールすることができる。

●検討すべきポイント

既存のメーカーによる類似製品の特許など商品開発に当たってクリアすべき点を整理する必要がある。商品が城陽市民に認知、応援されるためにも、開発プロセスへは市民や地元企業の参画を積極的に促していく必要があり、プロジェクトの推進に当たっては「協働コーディネーター」等の存在が重要と考えられる。



2班	ツアー	
タイトル	じょうりんちゃんとうめまつり	
対象	親子、お酒好きな人、山歩きする人	
城陽の宝	うめまつり × 酒造 × 鴻ノ巣山	
概要	いつ	うめまつりの時期
	どこで	青谷～鴻ノ巣山あたり。木津川運動公園
	どんなことをする	酒造めぐり。梅酒、酒の飲み比べ。ステージ。梅と春の鴻ノ巣山の木々の芽吹きを楽しむハイキング。農作物（城陽のもの）を使用した屋台（おにぎり、弁当）⇒うめまつりの規模を大きくしよう！
	必要な協力者	市内で活動しているバンドやコーラス（イベントのため）、農協婦人の会、酒蔵の方々
	大切にしたいポイント	特産物の梅をアピール（うめまつりもアピール）。鴻ノ巣山の自然

この企画の一番よい場面	コース、タイムテーブル、エリアマップなど
人によって楽しみ方が選べる（色々な場面の写真：ハイキング・梅・ステージ）	スタート：城陽・青谷からバス→コースによって行き先が違う。 コース：梅見物、酒めぐり（青谷周辺）。木津川運動公園で屋台、ステージ。鴻ノ巣山へハイキング。ステージはみんなが見れる時間に

●見どころ

豊かな自然を持ったまち「城陽」で、梅の花と芽吹きを楽しみつつおいしいものを飲食できる。ハイキングやステージ、屋台を実施することでさまざまな世代が楽しめる。

●効果

城陽の自然とその中で育まれた水や梅に焦点をあてることで、市の良さを内外にアピールできる。また、青谷に注目したイベントでもあり、青谷や梅まつりを市外の人に知ってもらうチャンスになる。

●検討すべきポイント

大勢の方の協力を求めることになるので、コーディネート力と参加者の募集が重要になる。まだ寒い時期なので、花見やお酒以外にも薪ストーブを設置するなど暖まれる方法が必要になりそうだが、それらを検討することで、新たな内容を付け加えることができるかもしれない。

2班	ツアー	
タイトル	蓮パカッ!ストレッチ	
対象	地元民	
城陽の宝	蓮 × 正道官衙遺跡広場ストレッチ	
概要	いつ	蓮の咲く朝
	どこで	寺田西小学校と陽幸苑の間のため池 or ハス池。まわりは田んぼ、農道。
	どんなことをする	午前8時ごろ、ハスが「パカッ」と音を立てながら次々開花する様子を見る。天女になった気分! その前に健康ストレッチ。
	必要な協力者	ストレッチの先生
	大切にしたいポイント	朝をさわやかに過ごす。開花の感動を分かち合う。

この企画の一番よい場面	コース、タイムテーブル、エリアマップなど
ハスが「パカパカ」開く様子をうっとり見る人々。まわりは田園。	6:45～7:30 正道官衙遺跡でストレッチ、ラジオ体操（通年：火・木・土）→徒歩移動→8:00 頃寺田西小学校近く田園の中のハス池

●見どころ

爽やかな早朝ストレッチ運動の後、蓮の開花を観察する。早朝の運動と自然観察で体も心もリフレッシュし、一日を気持ちよく過ごすことができる。「蓮が音を立てて開花する」知る人ぞ知る話を実際に体験できる。

●効果

ストレッチの時間があることで健康増進や参加者コミュニケーションにもつながる。また、既存のストレッチグループとの連携が可能。蓮の開花は、気候などの条件に左右されるため、開花音の体験はイベントとしての価値が高く、市外の人にも魅力的に

打ち出せば話題が広がる可能性が高い。また、早朝企画のため前日からの城陽泊も見込める。

●検討すべきポイント

蓮の開花は天候に大きく左右されるため、イベントを実施するタイミングが難しい。地元の人声による「蓮パカッ予報」の発信など、できるだけ開花に立ち会えるような工夫が必要となる。また、開花に立ち会えなかったときのために蓮農家や園芸業者による蓮ミニ講座を開くなど、正道官衙遺跡からの30分間ウォーキングの中にさらにアイデアを付け加える必要がある。

2 班	ツアー	
タイトル	古墳でコーフン SPLASH!!	
対象	古墳ファン、祭り好きな人	
城陽の宝	古墳 × 城陽のおいしい水 × 人がやさしい	
概要	いつ	夏(真夏!)
	どこで	JR 城陽駅～正道官衙遺跡
	どんなことをする	参加者にアバウトな地図とヒント、城陽のおいしい水を配り、古墳をめぐる。ポイントに城陽の水とそれ以外の水を置き、利き水クイズ! 当たった人には特産品ゲット! (ゴールにて) 場所は住民に聞きながらヒントを得る(参加者は古墳Tシャツ着用!) ゴールは正道官衙遺跡→おいしい水をスプラッシュ!
	必要な協力者	市、教育委員会、水道局、特産品の農家、企業、地元住民
	大切にしたいポイント	アバウトな地図、ヒントのため住民とのふれあいが必要。おいしい水、安心安全な水をふんだんに使う。元気!
この企画の一番よい場面		コース、タイムテーブル、エリアマップなど
参加者全員にスプラッシュ!!		JR 城陽駅 9:00 ~ 10:00 → 古墳めぐり (久世小が難問) → 正道官衙遺跡 15:00 スプラッシュ!! (企業協賛もしくは企業オリジナルのこれを着ていたらやさしくしてくれる古墳Tシャツ)

### ●見どころ

既存の遊園地などでも流行の水かけイベントと「人がやさしい」という城陽のよいところに注目して生まれた企画。古墳Tシャツを身に付け、あえて「アバウトな地図」を頼りに、住民に助けをもらいながら古墳を巡り、ゴールでおいしい水を掛け合う(スプラッシュする)。

### ●効果

これまで古墳など歴史遺産に関心がなかった層に興味を持ってもらうのによい企画。「古墳Tシャツを着ていると親切にされるかも?!」など、イベント終了後も話題性に富む可能性が高い。地元企業の協

力で作成する案が面白い。またデザイン案の募集コンテストなどさまざまな可能性がある。

### ●検討すべきポイント

参加者が古墳Tシャツを着たり、びしょ濡れになった服を着替えるための場所の確保が必要となる。真夏の健康管理に留意し、参加者が安全に元気に楽しめることが大切となる。市民も炎天下では屋外で出会いにくい可能性もあり、市民ボランティアの募集などまち全体で盛り上げるための工夫が必要になる。

3班	ツアー	
タイトル	『酒好き、歴史好きの大人のツアー』NO.1	
対象	酒好き×歴史好き	
城陽の宝	城陽酒造 × 久世神社 × 久津川車塚古墳	
概要	いつ	9月ごろ
	どこで	JR城陽駅→JR山城青谷駅
	どんなことをする	万葉集に載っていた久世神社で観光協会の方からお話を聞いて、久津川車塚古墳の現地説明会に行き、市の方からお話を聞いて、マルマン酒店で店長さんからお酒の話を聞き、お酒を買い、観光協会で特産品を見たり買ったりして、JRで移動した後、城陽酒造で蔵の見学、利き酒を楽しんでから買い物して帰る。城陽の歴史とお酒と特産品を味わうツアー。
	必要な協力者	マルマン酒店、城陽市、観光協会、城陽酒造
	大切にしたいポイント	城陽の歴史とお酒と特産品を味わう!!

この企画の一番よい場面	コース、タイムテーブル、エリアマップなど
城陽酒造で見学して楽しんでいるところ	JR城陽駅→久世神社（万葉集に載っているなど観光協会からお話）→久津川車塚古墳（現地説明会で市の方からお話）→マルマン酒店（店長からお酒のお話、買い物）→観光協会（特産品見たり買ったり）→JRで移動→城陽酒造（見学、利き酒、買い物）→解散（いちじくと金銀糸ストラップのおみやげ付き）

●見どころ

万葉集にも登場する久世神社で歴史の話を聞き、城陽の酒屋でお酒の話を聞くという歴史好き酒好きの大人向けツアー企画。途中観光協会で特産品もチェックでき買い物も3度楽しめる。

●効果

ツアーを通して専門家から直接お話を聞くことで理解が深まると、その後の買い物も進みやすい。また、自動車を使わず電車での移動が中心のため、観光客も参加しやすい。

●検討すべきポイント

歴史資源の現地説明の担い手は、観光協会や市の職員だけではなく、関心のある市民が担当できるような勉強会や養成講座などを開催すると良い。多くの市民が企画側として参加できれば、「城陽エコミュージアムの学芸員は城陽市民」という良いモデルになる。

3班 ツアー

タイトル	『酒好き、歴史好きの大人のツアー』NO.2	
対象	酒好き×歴史好き	
城陽の宝	城陽酒造 × 久世神社 × 水度神社	
概要	いつ	10月初旬
	どこで	JR城陽駅→JR山城青谷駅
	どんなことをする	久世神社は万葉集のゆかりの土地なので、観光協会の方より説明を受ける。水度神社はお祭りの様子を見て歴史を感じる。マルマン酒店で好みの酒を選び、観光協会で城陽市の特産品を買う。城陽酒造で酒蔵見学、利き酒を楽しんでいく。
	必要な協力者	マルマン酒店、城陽市、観光協会、城陽酒造
	大切にしたいポイント	城陽の歴史とお酒と特産品を味わってもらう

この企画の一番よい場面

城陽酒造の蔵内を見学して楽しんでいるところ

コース、タイムテーブル、エリアマップなど

JR城陽駅→久世神社→水度神社（お祭りみこしが通るのを見る）→マルマン酒店（店長からお酒の話しを聞く）→観光協会（城陽の特産品のおみやげ購入）→JR城陽駅＝JR山城青谷駅→城陽酒造（見学、利き酒、買い物）→解散（いちじくと金銀糸のストラップおみやげ付き）

●見どころ

城陽ならではの歴史遺産と地酒セットツアーの別バージョン。ここでは水度神社の秋祭りに焦点を当てている。お宮参りや七五三など、普段から市民に愛されてきた水度神社の秋祭りのみこしを見ることができる。

●効果

城陽市の歴史遺産に対する市民の理解を深めることは、城陽にとって失くしてはならないものを守る大切な取り組みと言える。1年に1回の祭りの時期に合わせることで例年行事としての定着も図れる。

●検討すべきポイント

2カ所の神社での内容に独自性を持たせるための準備は欠かせない。その内容を支えるためにも、多くの市民が企画側として参加できるようにすることが重要となる。リピーターに何度来ても楽しんでもらえるよう、内容に変化をつけられるとよい。

3 班	ツアー	
タイトル	新酒でホロ酔い梅見ツアー	
対象	酒好き	
城陽の宝	城陽酒造 × 梅	
概要	いつ	2月
	どこで	城陽酒造～梅の花
	どんなことをする	酒がどのように造られるか見学した後、梅の花が見られるところに移動、そこで大吟醸と飲み比べ
	必要な協力者	城陽酒造、梅農家の管理人
	大切にしたいポイント	城陽酒造の新酒を味わってもらう
この企画の一番よい場面		コース、タイムテーブル、エリアマップなど
梅林で花見をしながら新酒を飲む		JR山城青谷駅から徒歩→城陽酒造見学→移動1.5キロ→青谷梅林で試飲→花見（自由に飲む）

●見どころ

寒いときにできる新酒と、寒い中で花をつける梅。これらを同時に楽しむことができる。目と舌で城陽を味わうことができる。

●効果

酒と梅を組み合わせることにより城陽の魅力を発信することができ、親しみやすい企画のため集客につながる。

●検討すべきポイント

新酒ができあがる時期と梅の開花のバランスを見極めるところが重要になる。また、急な天候の変化

に対応できるよう、屋内での代替プログラムも併せて準備しておかなければならない。

4 班		イベント	
タイトル	城陽ゴリゴリ梅酒祭り in 森山遺跡		
対象	マッチョ好き、梅酒好き、祭り好き		
城陽の宝	五里五里 × 梅酒 × 森山遺跡		
概要	いつ	梅酒の時期	
	どこで	森山遺跡	
	どんなことをする	ボディービルダーが梅酒のかけあい、お客も参加可能。梅酒飲み放題。プロテイン梅酒割り。ボディービルコンテスト。マッチョカフェ。	
	必要な協力者	城陽酒造、梅林経営者、五里五里の里（観光協会）、遺跡の管理者	
	大切にしたいポイント	地域住民の参加、知名度UP、市外からの参加、話題性	
この企画の一番よい場面		コース、タイムテーブル、エリアマップなど	
マッチョがハダカで梅酒をお客さんにかけている。（女性ファンに、遺跡の前で）		10:00 梅酒試飲、マッチョカフェオープン 13:00 ボディビルコンテスト 17:00 梅酒のかけあい	

### ●見どころ

五里五里→ゴリゴリ→マッチョ→ボディービルダーコンテストという連想、発想が大変ユニークな企画。ボディービルダーと梅酒と森山遺跡の掛け合わせが他にはない展開を呼んでいる。

### ●効果

発想のユニークさから出発したショー的なイベントであり話題性が高い。SNSなどで情報が拡散されることで、市外からも人を呼び寄せる効果が期待できる。

### ●検討すべきポイント

丹念に作られた梅酒を掛け合いに使うのはいかかなものかと、モラルの面で受け入れにくい可能性がある。「マッチョが次回開催用に丁寧に梅酒をつくる」「古代の衣をまとった勝者に対し梅酒を捧げる」など、掛け合い以外のアプローチも検討する必要がある。森山遺跡を会場にする理由があるとよい。



4 班	常時	
タイトル	城陽美少女 GO!!	
対象	声優ファン、美少女オタク	
城陽の宝	寺田いも × いちじく × 梅 × しょうぶ × 神社や古墳、遺跡	
概要	いつ	年間通して
	どこで	神社、古墳、遺跡
	どんなことをする	城陽の特産品を擬人化した美少女キャラクター。イラストは有名イラストレーター、CVは有名声優。アニメ化してストーリーづけ。神社古墳などでしか見れない限定映像（位置情報で）オリジナルグッズ製作。
	必要な協力者	有名声優、有名イラストレーター、神社、古墳、遺跡の管理事務所
	大切にしたいポイント	特産品のアピール、城陽の神社古墳などに実際に足を運んでもらう

この企画の一番よい場面	コース、タイムテーブル、エリアマップなど
全国のおタクたちがスポットの前でスマホをかざしながら満足げな場面	5月：花しょうぶちゃん 6月：プラムちゃん（梅） 8月：ハス子ちゃん 9月：いちじくちゃん 10月：寺田イモさん 1月：金ちゃん銀ちゃん

●見どころ

食べ物に限らず花や金銀糸までも擬人化し城陽の特産品を美少女キャラクターとしてアピールする。神社古墳に行くことでしか見ることのできない限定映像の配信など現代のIT技術を生かしている。

●効果

映像配信など仮想的な取り組みのため、神社、古墳、遺跡自体に直接何かを施さなくとも実施ができる。実際にエコミュージアムのサテライト（地域資源）を巡るきっかけになるため、地域資源を相互につなぐディスカバリートレイル（発見の小径）になり得る。また、アニメであれば若者層への浸透も期

待できる。

●検討すべきポイント

キャラクター名を広く市民から募集することもでき、市全体で楽しむ取り組みに育てることも可能と考えられる。また、対象を限定せず、若者以外の層にも広く関心を持ってもらえるような設定に工夫を凝らす必要がある。



5 班	常時	
タイトル	五里五里 JOYO ファーム	
対象	地元ファミリー層、三世代	
城陽の宝	お茶問屋（もりた園）× 農家（花、いも、いちじく、梅）× スーパー × 水	
概要	いつ	常（2月は梅まつり出張）
	どこで	『新』道の駅
	どんなことをする	市民の写真展（テーマ：笑顔（人）、風景（夕日）、橋、孫）。スイーツ地場野菜。お茶＋金箔アイス、寺田いもアイス。城陽の水でコーヒー、てん茶。月1（フルムーン）でBar。
	必要な協力者	サントリー（水）、農家さん、産業まつり
	大切にしたいポイント	水の整備
この企画の一番よい場面		コース、タイムテーブル、エリアマップなど
地元民が参加		寺田駅、富野荘駅、城陽駅、長池駅からも歩ける。アルプラザ城陽近辺、城陽警察の近辺。

●見どころ

地場野菜を使ったスイーツ、城陽の水を使ったコーヒー、お茶の販売、写真展やバーを開催し、食べながら見ながら集いながら楽しめる「道の駅」。地場産品を育てた人との交流も楽しめる。

●効果

市の特産の支援にもつながり、地場野菜スイーツなど城陽にしかない特色が発信できれば、交通網の進歩に合わせ、にぎわいを作ることできる。また、子や孫、ペットの写真があると、家族や友達が見に来るため市民も多く参加できる。

●検討すべきポイント

市民参加でこの場を作っていくためにどのように地元の人や農家をまきこみ協働していくか、仕組みづくりが必要である。ゆくゆくは、市民の手で産品を紹介する冊子なども作れるとよい。城陽エコミュージアムの「案内施設」の役割も担える存在になり得る。

5班 ツアー

タイトル	ご当地品でおいしく健康に!	
対象	元気な女性	
城陽の宝	水 × 遊歩道 × カフェ	
概要	いつ	年中（もしくは土日）
	どこで	水度神社
	どんなことをする	半日で城陽を味わう。バスを巡回させて動きやすく。各ポイントでカメラ撮影。水取場を作って水を提供。カフェまで持って行けばコーヒーなど沸かしてもらえる（レストランなどと連携）。歩いて健康。
	必要な協力者	プラムイン、きれいないいカフェ、地域の飲食店
	大切にしたいポイント	ご当地品が使われている。所々休憩ポイントあり。

この企画の一番よい場面	コース、タイムテーブル、エリアマップなど
城陽以外から人が来る。観光スポットが出来る。地域と身近に感じられる。	寺田駅、富野荘駅→水取り場、ハスの池などの観光地（水が取れる）を作る→水度神社遊歩道→プラムインでカフェ→バスで駅まで帰れる

●見どころ

城陽のおいしい水に光を当てたツアー企画。観光地に取水場をつくることで、その場所を歩いて巡りながら、自分で取水した水でコーヒーが飲める。

●効果

散歩がしやすく気持ちのよい遊歩道を実際に紹介することで、一度参加した人が、家族などを連れて再訪してもらえる可能性がある。また、駅で集合解散となっており城陽市外の人も参加しやすい。

●検討すべきポイント

取水場の設置に当たっては衛生面を十分に考慮

する必要がある。また取水場の設置場所についてはウォーキングツアーを開催し参加者の声を参考にするなど検討する必要がある。飲食店とご当地メニューの開発などにつながる可能性もある。

6班	ツアー	
タイトル	城陽密着めぐり	
対象	観光地以外に行きたい外国人	
城陽の宝	水がおいしい × プラネタリウム × 給食	
概要	いつ	1日コース
	どこで	神社→小学校→文化パーク城陽
	どんなことをする	神社での試飲の後に水あてゲーム(2~3箇所)その後小学校で給食を食べる(地産地消)文化パーク城陽のプラネタリウムで自国とは違う星空を見てもらう。最後にアンケート実施。海外の情報発信。
	必要な協力者	神社関係者、教育委員会、文化パーク城陽職員
	大切にしたいポイント	城陽の水と給食(地産地消)の「魅力」を知ってもらう!
この企画の一番よい場面		コース、タイムテーブル、エリアマップなど
外国人が楽しむ給食風景		9:00神社試飲めぐり(2~3箇所)→バスで移動 12:30小学校給食 14:00文化パーク城陽プラネタリウム 16:00アンケート

●見どころ

「観光地以外に行きたい外国人」を対象に「水あてゲーム」、「給食体験」、「プラネタリウムで自国とは違う星空観察」というさまざまなテーマを組み合わせたツアー。

●効果

城陽市が京都や奈良に移動しやすいことや地産地消の魅力を発信することで、宿泊、食事客の増加を見込める。他の人がやらないことをしたい旅行者のニーズを取り込める。海外へもSNSなどでの情報拡散が期待できる。給食体験の中で小学生と給食交流ができれば、城陽市の小学生にとっても生の異文化

体験につながる。

●検討すべきポイント

対象となる「観光地以外に行きたい外国人」にどのように発信していくか戦略が必要である。ツアーをスムーズに進めるために多言語で対応可能なコーディネーターがいるとよい。また移動手段については検討が必要。参加者からのフィードバックをいかに城陽の魅力発信に活用できるかが重要。

6班	常時	
タイトル	毎日の散歩	
対象	YouTuber、ブロガー	
城陽の宝	水 × いちじく × 夕日	
概要	いつ	盛夏!!
	どこで	運動公園と鴻ノ巣山
	どんなことをする	朝と夜の散歩!! 城陽市民の1日を体験する
	必要な協力者	いちじく農家さん、家を貸してくれる人
	大切にしたいポイント	あくまで毎日の散歩!! 継続性☆

この企画の一番よい場面	コース、タイムテーブル、エリアマップなど
夕日：鴻ノ巣山公園、バンクーバー岩	朝：「我が家」スタート→日曜日6:00コップ1杯の水を飲む→運動公園まで散歩→いちじくを収穫 夕方：「我が家」スタート→ペットボトルに水を入れて出発→運動公園→鴻ノ巣山をのぼる→頂上にいちじくのお店→いちじくを食べる→アイリスイン

●見どころ

インターネットを使った情報発信が得意なYouTuber、ブロガーを対象に、朝と夕方の散歩を通して、城陽市民の1日を体験できる。

●効果

プロのYouTuberやブロガーに、城陽暮らしを体験してもらい「外」からの視点で日々の景色や体験、水やいちじくなどのおいしさを発信してもらうことができると大きな反響を得られる可能性がある。ITを活用したエコミュージアムの新たな情報発信の手法になる。

●検討すべきポイント

「市民がおすすめの散歩コース」などマップづくりから始めるとよい。いちじく以外にも時期によって掛け合わせる農作物が変わり、更に広がりを持たせることができる。YouTuber、ブロガーにいかに来ってもらうか、発信方法が課題である。

7班		イベント	
タイトル	おかえりホームタウン		
対象	家族(子どものいる)老若男女		
城陽の宝	公園 × 交通 × 食事		
概要	いつ	いつでも	
	どこで	木津川運動公園(五里五里の丘)、鴻ノ巣山運動公園、木津川河川敷運動公園	
	どんなことをする	上記の3公園を桜の名所的なものにしていく(万博公園や円山公園くらいにしたい)→おかえりホームタウン、城陽出身の著名人来てもらおう(城陽にゆかりのある)例:内海の好きだった給食メニューをプラムインや文パルのレストランに出す。野球教室、ラグビー教室、サッカー教室、あと普通に遊ぶ。実はスポーツが盛ん。プロ野球内海、三上、河端。ラグビー桜谷、藤田、サッカー森岡etc	
	必要な協力者	城陽市、商工会議所、青年会	
	大切にしたいポイント	ホンマモンを見せる	
この企画の一番よい場面		コース、タイムテーブル、エリアマップなど	
来てくれた!遊んでくれた!教えてくれた!一緒のものを食べれた!と子どもたちが喜んでいるところ		なし	

●見どころ

城陽出身の著名人来てもらい、いっしょに公園でふれ合う、教えてもらうことで子どもたちに「ホンマモンを見せる」。その著名人が好きだった当時の給食メニューがレストランなどで登場する。

●効果

著名人来ってもらうことで、子どもたちにとって一生ものの経験を提供できる効果は大きい。イベント時以外でも「スポーツ選手の好きだった給食メニュー」を、給食やレストランなどで取り扱うことで話題性につなげることができる。

●検討すべきポイント

スポーツ選手以外にも城陽出身の著名人でこの企画につながる人にどんな人がいるか具体的に名前をあげる必要がある。いつでも開催可能ではあるが、梅や桜の木の植樹をみんなで行うなど、開催時期を検討し他の企画と連携することでさらなる広がりが期待できる。

7班	ツアー	
タイトル	サイクリングで特産物を楽しもう	
対象	サイクリング好き	
城陽の宝	木津川の堤防 × いちじく畑 × 茶畑	
概要	いつ	8月～9月
	どこで	いちじく畑
	どんなことをする	茶畑を見つけながら木津川の堤防をサイクリングする。いちじく畑まで行っていちじくを試食する。茶農家に行ってみ学した畑のお茶を試飲する。
	必要な協力者	いちじく農家、茶農家
	大切にしたいポイント	いちじく農家、茶農家との対話（歴史、栽培など）

この企画の一番よい場面	コース、タイムテーブル、エリアマップなど
新鮮ないちじく、お茶を食べて飲んでいるところ	市役所→流れ橋→堤防を上流に（茶畑を発見）→2km程度走る→（ラーメンたけ井）→いちじく農家にて試食→茶農家にて試飲→（栗太郎）→市役所へ戻る（合計3時間コース）

●見どころ

いちじく農家、茶農家との交流を通して、城陽のいちじくやお茶の歴史、特産品へのこだわりなどを学びながらサイクリングができる。

●効果

木津川の堤防サイクリングコースを体験することで、通年を通してまた走りに来ようとする人が増える可能性が高い。また、サイクリング仲間などにコースの良さを広めてもらえる可能性もある。

●検討すべきポイント

レンタサイクルが用意できると観光客も参加しや

すくなる。旬の時期＝農繁期のインタビューや、夏場に慣れていない人がサイクリングをするには日差しがきつくハードルになる可能性があるため、早朝や夕方など実施する時間帯や時期には検討が必要と考えられる。

7班	ツアー	
タイトル	歴史・栗（ロマン・マロン）	
対象	ウォーキング、歴史好きの人	
城陽の宝	古墳 × 神社 × スイーツ	
概要	いつ	オールシーズン
	どこで	久津川駅→水度神社→寺田駅
	どんなことをする	神社・古墳をめぐるってスイーツを食べる
	必要な協力者	観光局（ガイドいてほしい、マップ作ってほしい）、スイーツ店、特産品（いちじく、梅）スイーツ、近鉄
	大切にしたいポイント	歴史に気持ちを馳せる

この企画の一番よい場面	コース、タイムテーブル、エリアマップなど
神社・古墳でお茶している場面（歴史を感じながらその時代にタイムスリップするような）	久津川駅→平井神社→久津川車塚古墳・芝ヶ原古墳（銅釧という珍しい物がある）・平川廃寺跡・上大谷古墳群・下大谷古墳群・丸塚古墳 etc→正道官衙遺跡遺跡（スイーツ、万葉集の句がある）→栗太郎スイーツ調達→水度神社→文パル（スイーツ、星まちキッチン）→寺田駅

●見どころ

特産品スイーツを合間にいただきながら、城陽の歴史資源をたくさん巡ることができる。ただのスイーツ巡りとはひと味違い、ガイドや歴史好きの参加者の解説で充実したツアーを実施する。近鉄電車の駅で集合・解散できるため遠方からも参加しやすくなっている。

●効果

近年スイーツ巡りはどこの地域でも大変人気があるため、近畿圏内広範囲からも十分に若い女性を始めとする参加者を見込むことができる。また、若い人に向けて、城陽の史跡や神社を巡ることで、城陽

が長い歴史を持つ豊かな地であることを伝えられる。

●検討すべきポイント

ガイド付きツアータイプと、いつでも巡れる観光マップタイプと2種類のやり方が考えられる。史跡・神社巡りでは、それぞれの特徴を出す必要がある。また、「土器でスイーツを食す」など、時代をさかのぼれるような、細部の工夫が内容豊かなイベントを作ることにつながる可能性がある。



## 意見結果

エコミュージアムの企画書づくりでは、7つの班から17の案が出されました。どの案にも、城陽市エコミュージアムを進めるうえで、多くのヒントが含まれていました。また、その前段で行った「城陽の宝」を出し合う場面では、参加した市民の生きた思いが挙げられました。

「城陽の宝」としてもっとも多く挙がっていたのは、木津川・鴻ノ巣山・景色の良さ・自然の多さなど自然の豊かさに関わること、イチジクに代表される農作物や豊富な地下水・おいしい水道水、加えてスポーツ施設・公園・プラネタリウム・図書館などの施設資源などでした。

次に、古墳・遺跡などの歴史資源、立地の利便性・子育てのしやすさ・市民の優しさなど暮らしやすさに関するものも挙げられました。

これらを元に取り組みされたエコミュージアム企画書づくりでは、水・イチジク・イモ・梅・酒などの豊かな自然を生かした飲食物が多数あ

りました。また、市民の優しさなどモノ以外の豊かさも数多くありました。

一方、施設資源については「宝」だとされたものの、企画書の中で多く取り上げられることはなく、名木古木・金銀糸などは「宝」として挙げられることがほとんどありませんでした。

行政側では古墳・遺跡が代表的な宝という認識がありましたが、今回の会議で市民の発想は身近な地域資源を宝ととらえることが多く、市民の感覚における宝を認識する貴重な機会となりました。

特徴的なのは、「宝」としてはそれほど多く挙げられなかった古墳・遺跡などの歴史資源が、多くの企画書で、鍵となる地域資源として取り扱われていたことです。城陽の歴史資源は、エコミュージアムを具体化する上で核となり得るものであると考えられます。

## 分析結果

### 地域資源の掘り起こしとストーリー化

城陽を特徴づける歴史・自然・産業などに関わる地域資源の「台帳づくり」は今後も継続していくことが大切です。市民に対し「城陽の宝は何だと思いますか?」という問いかけ（地域資源の掘り起こし）をし、それらにまつわるストーリー（理由やエピソード）を集めていくことはエコミュージアムの素材を発見することにつながる有効な作業です。今回のグループワークでも個人のストーリー（エピソード）がユニークな企画書に発展したケースが多くありました。

時間を要することではありますが、広報紙で「あなたが思う城陽の宝」の募集を行うことや、地域団体、市民団体などの協力を得るなどにより、幅広く地域資源とそのストーリーを集めていくことが、城陽らしいエコミュージアムを進めるうえで有効なものと考えられます。

### 地域資源を結ぶルート（ディスカバリー・トレイル）の設定

企画書の中には、古墳・遺跡などの歴史資源をはじめとする地域資源を結ぶルート（ディスカバリー・トレイル）の設定につながるものが多くありました。これらのルートは地域の魅力を再発見できるテーマをもったものになります。

つながりが強い地域資源同士だけでなく、一見つながりがない資源同士、またその両方をつなげていく工夫とアイデアが、新たなエコミュージアムの企画につながり得ると考えられます。

ルートの移動手段、方法についても多様な意見がありました。地域資源間をどのように移動するか、交通手段もあわせて検討していく必要があります。

### 体験・探検ツアー、散策会等の実施

さまざまな機関や団体がすでに実施している魅力的なイベントや観光資源をエコミュージア



ムの枠組みの中で、体験・探検を通じたメニューとしていかに提供していくかが、エコミュージアムを進めるうえで重要なポイントになります。また、企画立案の際には、参加対象を絞ることが重要です。対象を限定することで、より焦点がはっきりした内容にすることができます。

企画書の中には、テーマが明確なイベントが多数ありました。一方で、ガイドを誰が担うかについては、プロの方や行政が行うといった内容が多く見られましたが、持続可能な取り組みにしていくためには、行政主体ではなく、市民と協働で進めていくことが必要です。いずれは市民ボランティアに多く関わってもらえるように、体制づくりや養成講座の実施などにより、子どもたちを含む市民全体がエコミュージアムの重要な「学芸員」とあるという認識を広めていく必要があります。

### 商品開発

茶・イチジク・イモ・梅などの城陽市の特産品を生かした商品開発は、市民、企業、市役所などが城陽の強み・売りについて共に検討し協働する場づくりにつながる機会にもなり、かつエコミュージアムの地域資源のひとつとしての役割を担えるものです。

農家や飲食店の他、技能・技術者などとも協働して、金銀糸など飲食物以外の商品開発を視野に入れていくことも有効なものと考えられます。

### 市内外へのPR活動

イベントの告知や観光案内は、おのこの単独での実施になりがちですが、今後「城陽市エコミュージアム」を進めていく上では、さまざまな情報を幅広く横断的に発信していく必要があります。発信の媒体も対象や目的に合わせ、ホームページや広報紙・ポスターの他、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）なども活用していくことが重要です。

企画書の中では、「城陽市エコミュージアム」側からの一方的な発信だけでなく、日々ブログを更新している方などに実際に来てもらい発信者になってもらうという案もありました。このように、口コミも利用し、多くの人にPR役を担っていただけるような仕掛けも検討していく必要があります。

また、デザインも重要です。個々のイベントや事業の告知であっても、ロゴマークなどに統一したデザインを用いれば、ひとつのエコミュージアムの取り組みとして、直感的に理解することができます。有機的なつながりをもたせた戦略的なPR活動を市内外へ展開していくためにも、統一したデザインが有効です。

平成29年度の「お茶の京都」のターゲットイヤーに合わせて産業資源であるお茶を通じたPRに努めることも重要です。

名木古木や伝統産業である金銀糸などは、歴史を感じる城陽市の重要な地域資源として活用が望まれるため、市民に対してもさらなる情報提供やPRが必要です。



## 総括

城陽市において、平成29年に新名神高速道路「城陽・八幡間」の開通、平成35年度には「大津・城陽間」の開通による全線供用開始が予定されており、それに合わせて、城陽ジャンクション・インターチェンジに隣接する新市街地や東部丘陵地を中心に都市機能の集積が進みつつあります。また、JR奈良線の複線化による鉄道網の充実も進むなど、今後交流人口の大幅な増加が見込まれています。これらを受け、市民や市外の方にとって「住み続けたいまち」「訪れたいまち」にしていけることが、城陽市の課題となっています。

新市街地には多くの企業の進出が予定されており、昼間人口の大幅な増加が見込まれています。また、東部丘陵地長池地区に立地を目指している大型商業施設は、多くの集客が見込まれています。こうした人々を対象として、城陽の地域資源をPRし訪れていただく取り組みが必要です。また、「日本茶800年の歴史散歩」として日本遺産に登録された、山城のお茶は、平成29年度がターゲットイヤーである「お茶の京都」事業で、全国的に注目を集めることとなります。そのため、城陽でもお茶をテーマにしたイベントやお茶を核として城陽の他の地域資源と掛け合わせた事業、他の市町と連携した事業などを展開し観光客を取り込むとともに、その盛り上がりを一過性のものとしないうちに継続的に取り組みを進めることが重要です。

城陽未来まちづくり会議では、古墳・遺跡などの歴史資源、いちじく・梅などの産業資源の他、水や豊かな自然、市民の優しさなどにも城陽の強みがあること、そして、それらを掛け合わせた企画を立案する中で、城陽の地域資源を有機的に連携させ新たな魅力を創造する可能性と課題が明らかとなりました。

このような状況を踏まえ、城陽でエコミュージアムの取り組みを進めるにあたっては、市の各部署の連携だけでなく、市民や企業・団体などの幅広い協力を得て、協働していくための全体的な体制づくりが必要です。また、エコミュージアムには、主催が誰かに関わらず城陽におけるさまざまな事業を有機的につなげていく役割

があります。

取り組みの初期においては、今回の会議で行ったように市民から地域資源とそれにまつわるエピソードなどを集め、それらの地域資源の魅力を引き出す方法を検討し、「宝」としてさらに磨き上げていくことが重要になります。さらに、地域資源にはさまざまな種類があり、無限の組み合わせでツアーやイベントを企画することができます。そして、組み合わせを結びつけることにより、点から線へ、線から面へと発展させることができます。

ディスカバリートレイルの設定やイベントの実施を検討する際には、城陽の強みである地域資源を生かせるよう参加対象を明確にすることや城陽の地域資源を体験・体感できる内容とすることが重要です。そして、企画の立案に際しては、他所にない城陽独自の企画を一から作り上げることも重要ですが、他所での成功事例を城陽の地域資源と掛け合わせることで、地域資源の特徴を生かした十分独自性のある企画とすることができます。これによって、近畿圏域の交通の要衝となる城陽市に多くの人に訪れてもらえるような、城陽独自のユニークで魅力的なエコミュージアムを作り上げていくことができると考えられます。



# 城陽未来まちづくり会議 報告書 資料編

## 資料編 目次

---

8 会議のタイムテーブル……………	35
9 班ごとのグループワークの様子……………	38
事前配布資料 ……………	52
ごあいさつ ……………	53
エコミュージアムについて ……………	54
城陽市の地域資源 城陽市役所選 ～城陽市の魅力、地域資源一覧 ……………	56
城陽市の地域資源 城陽市民選 ～城陽市の魅力、地域資源一覧 ……………	69
事前アンケート結果 ……………	74
城陽未来まちづくり会議参加者の アンケート結果 ……………	80

## 8 会議のタイムテーブル

9:30 - 10:00	受付
10:00 - 10:15	開会、市長挨拶
10:15 - 10:35	導入 グループ内自己紹介
10:35 - 10:45	エコミュージアムについて 本日のスケジュール確認
10:45 - 11:05	アイデア出しの準備体操
11:05 - 12:00	「城陽の宝」さがし、まとめ 他の班のまとめを観覧
12:00 - 13:00	昼食
13:00 - 13:35	「私の好きな城陽」イチオシ3つ、グループ内共有
13:35 - 15:00	企画書づくり
15:00 - 15:15	グループ内共有 休憩
15:15 - 15:40	企画書観覧、共有
15:40 - 16:00	総括・アンケート記入・閉会の挨拶・写真撮影

## ワーク1 アイデア出しの準備体操

アイデアを出す練習として、初めに「ブレインストーミング」を体験していただきました。

### アイデア出しのコツ

- 初めは自分ひとりで出してみる。
- 自分の考えを否定せずにどんどん出す。
- 質よりも数が大切。
- 連想ゲームのような発想で。
- 最後まで諦めずにひねり出す。

- テーマ1：赤いもの 60秒
- テーマ2：秋と言えば 90秒



## ワーク2 「城陽の宝」さがし

テーマを「城陽市のよいところ」として、同様にブレインストーミングをしていただきました。

### 宝さがしのルール

- 黄色い紙一枚にひとつのアイデア。
- 単語で書かずに文章で書く。
- 質よりも数が大切。



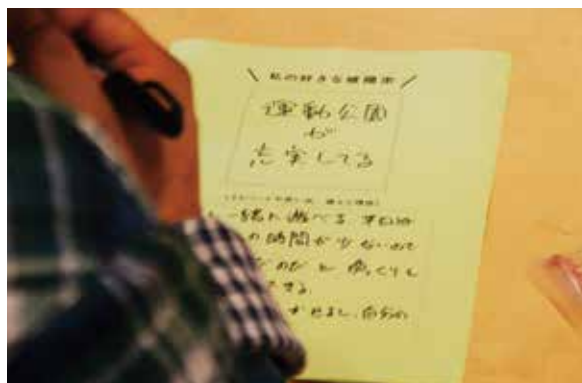
## ワーク3 「私の好きな城陽」 イチオシ3つ

ワーク2で全7班から出された「城陽の宝」の数は、合計481個でした。班内に限らず、この全体から最も共感できる城陽の宝を各自3つ選んでもらい、緑の用紙に書き写していただきました。

また、それを選んだ理由や、それによって思い出されるエピソード、「昔はこうだった…」などの話をそれぞれ書いていただきました。

### イチオシ3つのルール

- 緑の紙一枚にひとつの宝とその理由やエピソード。
- 単語で書かずに文章で書く。





## ワーク4 企画書づくり

ワーク2、ワーク3を通じて出てきた「城陽の宝」を掛け合わせ、城陽市エコミュージアムで特色ある事業を展開していくため、そのヒント・足がかりとなるような企画書を作成しました。（詳細は、本編13～29ページを参照）

### 企画書作成のルール

- 対象をはっきりさせる。
- 「城陽の宝」を2つ以上掛け合わせる。
- ワークシートのすべての項目を埋める。
- 迷ったら、アイデアはとがった（極端な、奇抜な）方を選ぶ。丸くすることは後からでもできる。
- 自分の考えも他人の考えも否定せずに、いったん取り入れてみる。
- 無責任でOK!



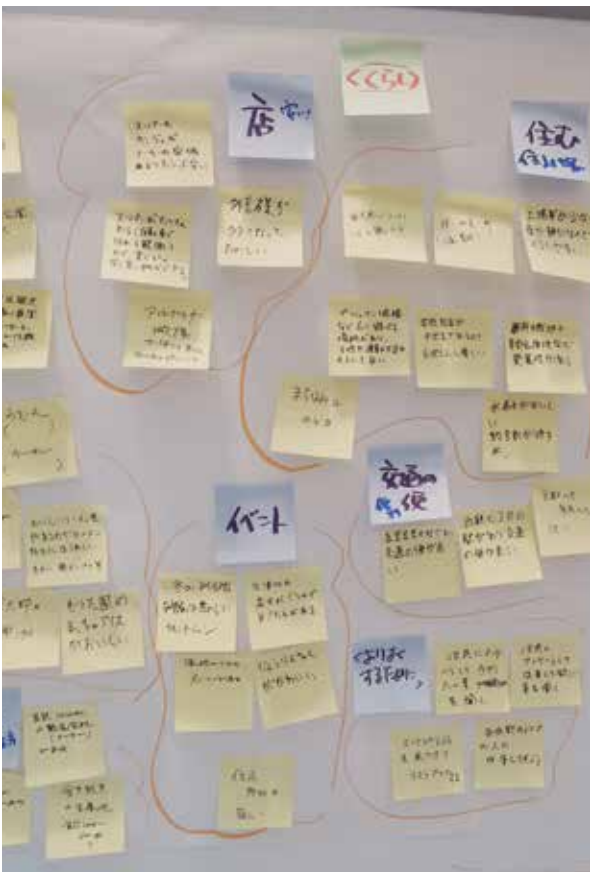
## ワーク5 企画書の観覧

他の班の企画書を見て回る時間をとった。1人ずつ7枚のシールを渡し、「いいね!」と思う企画にシールを貼ってもらうことで、参加者の興味関心を可視化しました。また、シールの多かった班には簡単に企画の紹介をしていただきました。



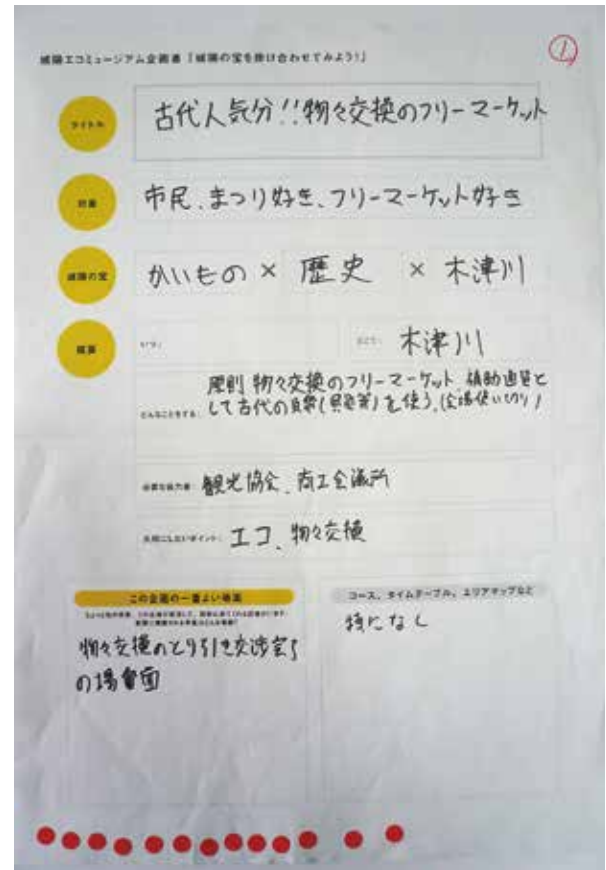
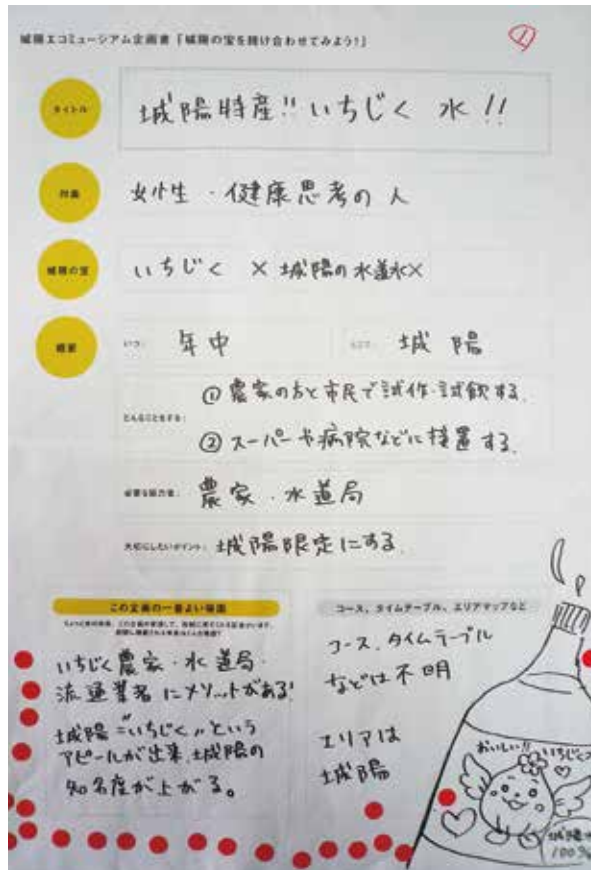
# 9 班ごとのグループワークの様子

## 1 班のグループワークの様子





年代も地区もそれぞれのメンバーで、自由に気軽に意見交換をするとともに、市内でも知らないことも共有していました。他者の意見に刺激され、さらにたくさんの意見が出ていました。



## 2 班のグループワークの様子



減農薬ミュージアム企画書「減農薬の宝を掘り合わせてみよう」

2

**テーマ** じょうりんちんとうめまつり

**対象** 親子、お酒好きな人、山歩きする人

**減農薬の宝** うめまつり × 酒造 × じょうす山

**概要** うめまつりの時期月 書谷へじょうす山あり、木津川運動公園

酒造めぐり、梅酒、酒のみでバ スマジ  
 梅と書谷のじょうす山の木のめぐり（ハイキング）  
 農産物（城陽のもの）を使用した厚（お餅）  
 市内で活動しているバドミントン（バドミントン）  
 農協婦人の会、酒造の方、  
 生産物の梅干、アロール（うめまつり）  
 じょうす山の自然

この企画の一環として  
 人にふて果てみ方が  
 送る（巴や土屋の写実）  
 企画書

コース、タイムテーブル、エリアマップなど  
 スタート 城陽・農協からバス→コース22  
 ●コース・梅農物・酒めぐり（城陽）  
 ・木津川運動公園で  
 厚台スマジ  
 ・じょうす山ハイキング  
 ●スマジはみんなが見える時間



多様な参加者のみなさんの個人的な体験、エピソードを話される中から企画作りがぐんぐん加速し、具体的になっていきました。



城陽エコミュージアム企画書『城陽の宝を掛け合わせてみよう!』

タイトル: **古墳が SPLASH!!** (コープン)

対象: 古墳ファン、祭り好きな人

城陽の宝: 古墳 × おいしい水 × 人がやさしい

概要: 夏(真夏!) JR 城陽駅 ~ 正通官御道跡

内容: 参加者のパワートレーニング(20分) 城陽の美しい水 → 古墳と水 → 古墳の水、城以外の水を、利用水クイズ! → 古墳の水は、城以外の水を、利用水クイズ! → 古墳の水は、城以外の水を、利用水クイズ! → 古墳の水は、城以外の水を、利用水クイズ!

コース: タイムテーブル、エリアマップなど

JR城陽駅 → 古墳のバリエーション (20分) (20分)

→ 正通官御道跡、15:00 スplash!!

USJの今年の夏のイベントの参考に!

城陽エコミュージアム企画書『城陽の宝を掛け合わせてみよう!』

タイトル: **蓮パカッ! ストレッチ**

対象: 地元民

城陽の宝: 蓮 × ストレッチ

概要: 11月の朝 陽華 奇田西小学校 蓮池

内容: 午前10:30、11:30「パカッ」と音で蓮を割る。次は蓮花すく棒子をする。蓮池の水を飲む。ストレッチ(山本マサユキ、山本ハ、長野由)

コース: タイムテーブル、エリアマップなど

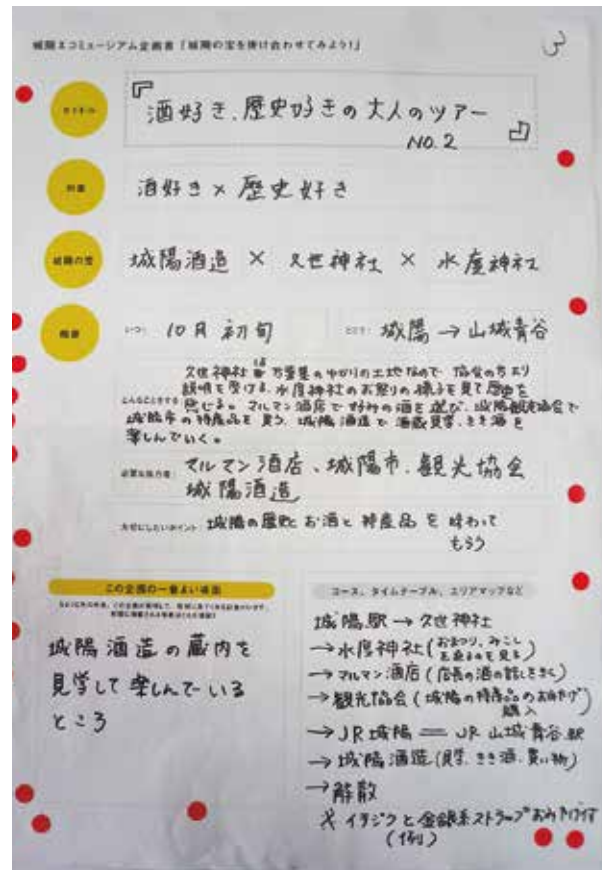
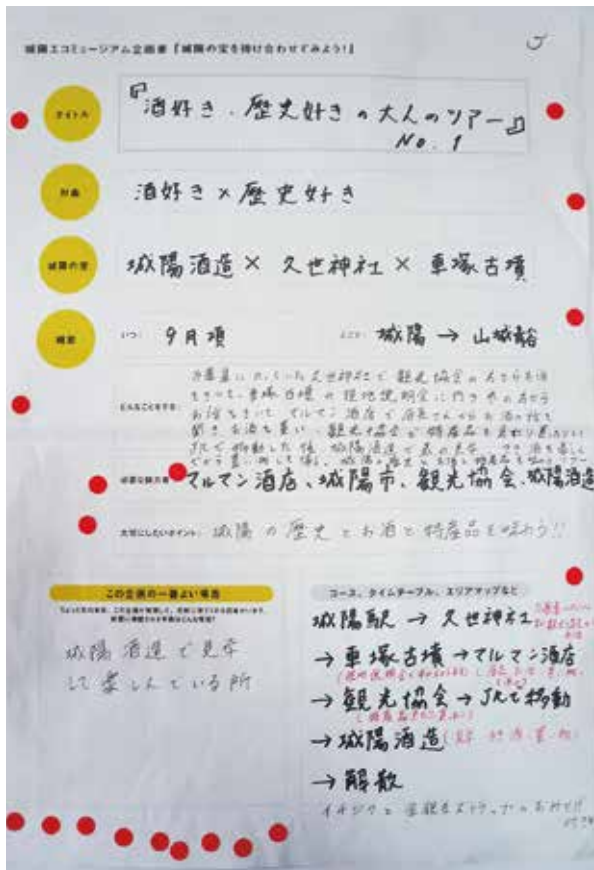
6:45 正通道跡へ

7:30 ストレッチ、55分休憩

徒歩移動

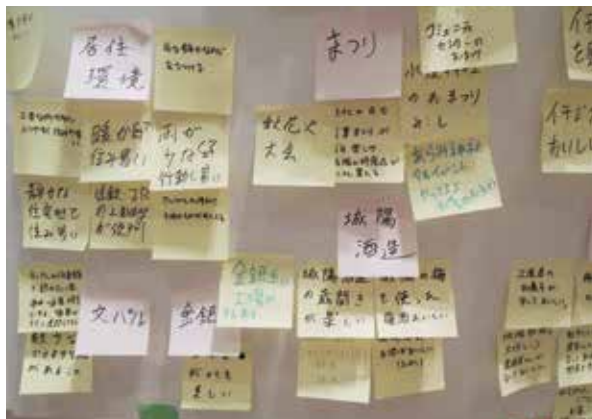
8:00頃 奇田西小学校近く 11区地「蓮池」

### 3 班のグループワークの様子





しばしば全員が立ち上がり、意見や地図を眺め、議論し、展開していました。

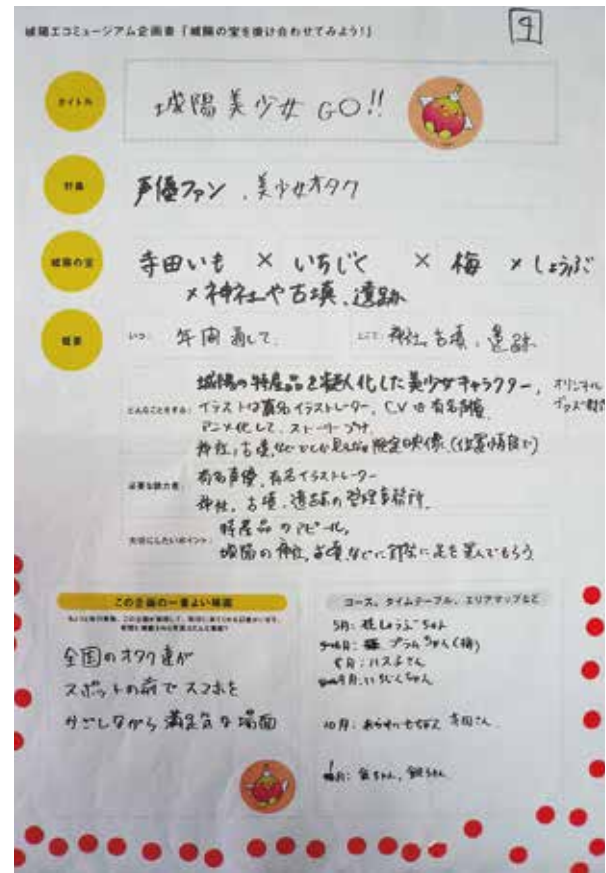
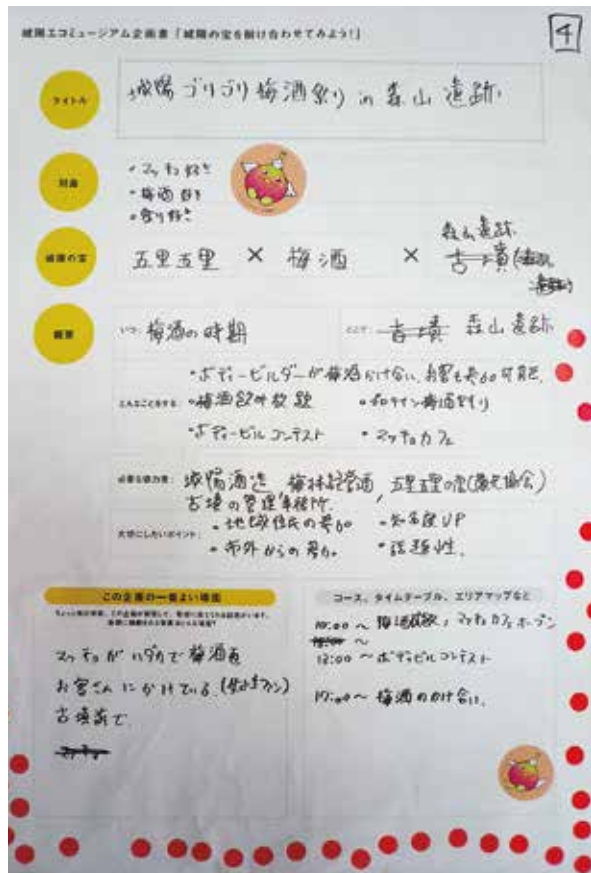




## 4 班のグループワークの様子



「とがった企画をつくろう!」と、アイデアを出し合い、その中で盛り上がった案を少しずつ具体化させていきました。





5 班のグループワークの様子



健康エココミュニケーション企画書「健康の宝を分け合わせてみよう」

ひょうろ  
五里五里 JOYO  
ファーム

ターゲット

対象 地元ファミリー層 三世代

健康の宝 お茶の湯 (おりの園) × 農家 × スーパー (北、いも、いらすと)

健康 100% 茶 (2月4日 梅まつり後) ... 新道の駅

健康の宝 市のふるま展 (テーマ: 笑顔 厚手 2020) ... スイーツ、地場野菜 / お茶の湯のアート

健康の宝 地域の水 コーヒー / 和食のアート

健康の宝 ケンコー(水)、農家さん 産物まつり

健康の宝 水の整備

この企画の一環として

コース、タイムテーブル、エリアマップなど

手取駅、富野駅、城崎駅  
長池駅、お茶の湯

カレパシ、城崎 近辺  
城崎駅、お茶の湯

地元民が参加

健康エココミュニケーション企画書「健康の宝を分け合わせてみよう」

ひょうろ

ターゲット 当地品で おいしく健康に!

対象 元気な女性

健康の宝 水 × 遊歩道 × カフェ

健康 100% 茶 (おりの園) ... 水度神社

健康の宝 平日の健康を味わおう。バスと自転車で移動して。お茶の湯と水度神社。水度神社で水と水を交換。歩いて健康。カフェで水と水、コーヒーを味わおう。(おりの園と水度神社)

健康の宝 プレミアム、地域の飲食店

健康の宝 水度神社

健康の宝 当地品が使われている / 休憩ポイント

この企画の一環として

コース、タイムテーブル、エリアマップなど

城崎以外から来ず、観光客は少ない、近辺に感じさせる

手取駅、富野駅から ↓ 水取の湯、11/20/21/22 水取の湯 (お茶の湯) 水取神社 遊歩道 ↓ カフェ

バスと自転車で移動

おいしく健康的



城陽の「宝」「地域資源」を地図にどんどん落とし込みながら、議論を進めていました。

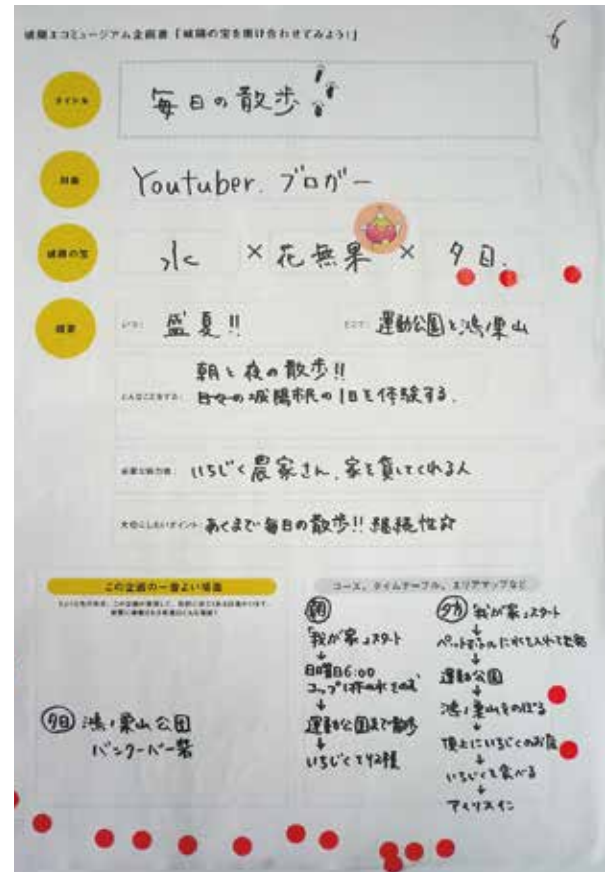
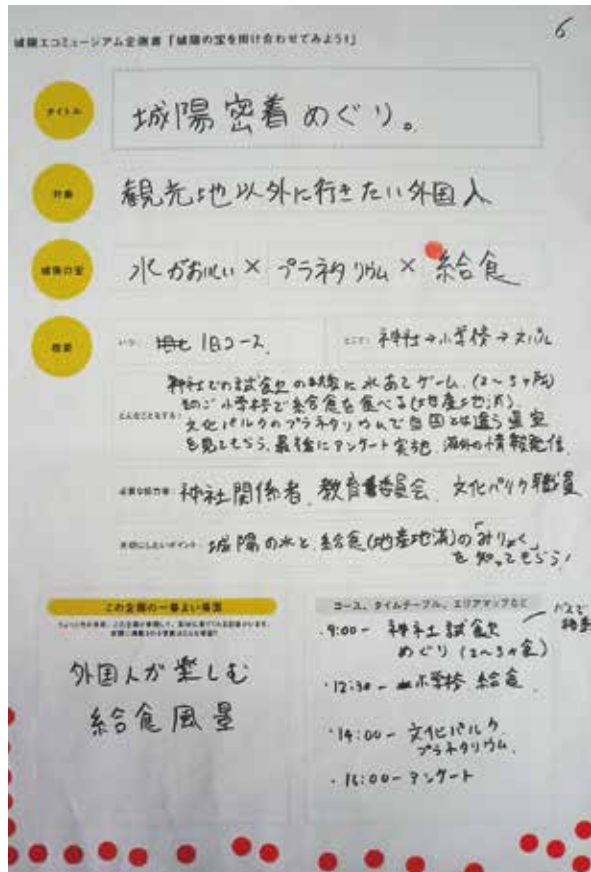




## 6 班のグループワークの様子



「YouTuberがわからない」という意見に対し、説明したところから企画につながり、世代を超えてお互いが補い合って話し合いを前に進めていました。





## 7 班のグループワークの様子



健康エコロジーシム委員会「健康の宝を授け合わせてみよう」

7班

テーマ: ササガ河に桐原町工業団地

対象: オイクラック決りき

健康の宝: 木酢の提供 × イチゴ畑 × 茶畑

日時: 11月 21日 - 29日

講師: 山崎 清美 (YAMAZAKI Kiyomi)

ASPECTS: ① 木酢の見学(2020年) 木酢の提供(2020年) ② 木酢の活用(2021年) 木酢の活用(2021年) ③ 木酢の活用(2021年) 木酢の活用(2021年)

※参加費: 木酢の提供 無料

※お問い合わせ先: 山崎 清美 山崎 清美 (山崎 清美)

---

この交流が一番よい機会

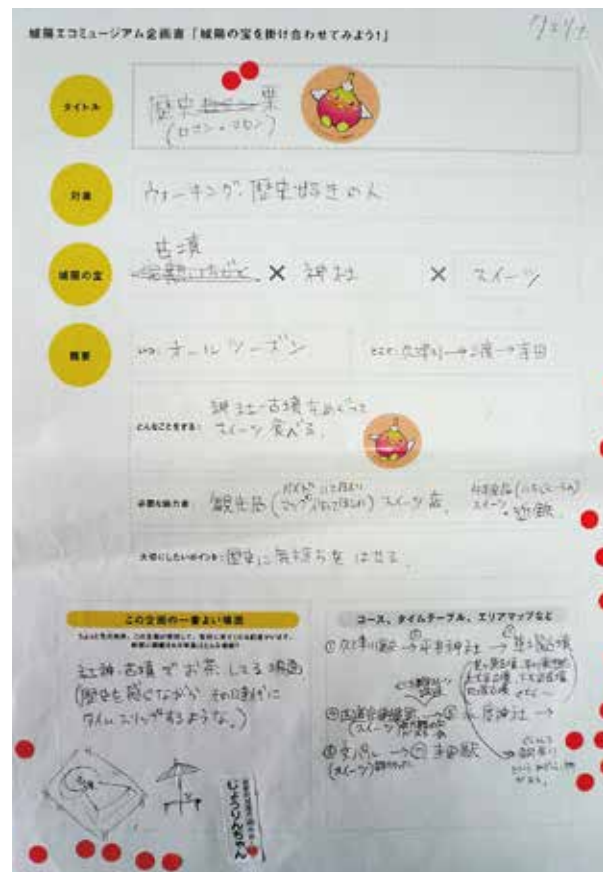
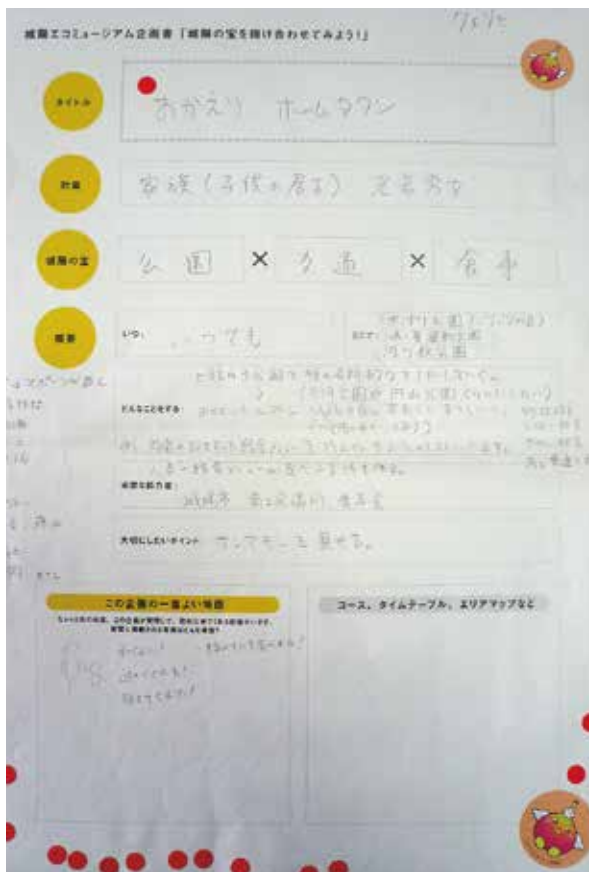
コース、タイムテーブル、エリアマップなど

① 木酢の見学(2020年) 木酢の提供(2020年) ② 木酢の活用(2021年) 木酢の活用(2021年) ③ 木酢の活用(2021年) 木酢の活用(2021年)

① 木酢の見学(2020年) 木酢の提供(2020年) ② 木酢の活用(2021年) 木酢の活用(2021年) ③ 木酢の活用(2021年) 木酢の活用(2021年)

① 木酢の見学(2020年) 木酢の提供(2020年) ② 木酢の活用(2021年) 木酢の活用(2021年) ③ 木酢の活用(2021年) 木酢の活用(2021年)

グループメンバーがお互いに「案外つながっていた」ということがわかると、皆さんさらに盛り上がり、一日では議論が足りない程でした。



# 城陽未来まちづくり会議 (55人委員会)

資料



テーマ「エコミュージアム」

【日時】平成28年10月8日(土) 10:00～16:00

【場所】文化パーク城陽 東館4階 大会議室



## ごあいさつ

城陽市は、交通の要衝として古くから重要な地であったことから、市内にはその歴史を物語る豊かな歴史資源が数多く存在しています。宇治市の平等院や八幡市の石清水八幡宮などの世界遺産や国宝はありませんが、国指定史跡が6件あり、比較的狭い範囲に縄文時代から奈良時代の史跡がまとまって所在する地域は全国的にもあまりみられないため、文化庁からも各時代の人々の営みを史跡を通じて実際に体験できる貴重な地域という評価を受けております。

城陽市では、これらの歴史資源だけでなく自然や産業などの多様な地域資源を活用し、市民の皆さまにふるさとに対する誇りと愛着をもってまちづくりに取り組んでもらうとともに、広く市外に城陽市の魅力を発信して多くの人たちを呼び込むことを目的として、「エコミュージアム」に取り組んでいます。

エコミュージアムは、市民の主体的な参加により、城陽市全体を「屋根のない博物館」として運営していくもので、そのはじめの一歩として、多くの市民の意見を聞いていく「城陽未来まちづくり会議（55人委員会）」でテーマとして取り上げます。

市では、この冊子の4ページから16ページに掲載しているようなものを城陽市の代表的な地域資源として認識し、把握していますが、市民のみなさまからの視点（アンケートより抜粋、17ページから20ページ）は、また別の角度からのものになっています。このことから分かるように、さまざまな人の意見を出し合い、組み合わせることで、市民も心地よく、訪れる人も楽しいまちづくりができるのでは、と期待しています。

また、9月に作成した市が考える城陽市の今後のエコミュージアムの取り組みの方針についてまとめた「城陽市エコミュージアム基本方針」の概要を別添資料としてあわせて送付させていただきます。城陽市でエコミュージアムをつくり上げるにはどうすればよいのかを考える参考としていただければと考えます。

10月8日には、あらためて「城陽市の魅力」について考えを巡らせ、それらをどのように組み合わせ活用していけば、市民にとっても、訪れる人にとっても一層興味深いエコミュージアムになるのかを話し合いたいと思います。

ぜひ、事前にこの冊子と別添の「城陽市エコミュージアム基本方針」に目を通していただき、「城陽市の魅力」について自由に考えながら、当日ご参加いただければ幸いです。

# What is Eco-Museum?

## エコミュージアムについて

城陽イメージキャラクター  
「じょうりんちゃん」



### エコミュージアムって？

エコミュージアムと聞くと、「環境問題の博物館？」と想像する方もいらっしゃると思いますが、**ここでの「エコ」とは「生態系」という意味**で使われています。この地球上では、すべての生物がつながりあって生きているように、**まちも、まちにあるすべてのものがつながりあって存在しています。**

また、近年では、世界遺産や特産品のような「目立つ観光資源」だけでは、地方を活性化していくことは難しいといわれています。今後は、まち全体を見て、地域全体を味わえ

る観光のアイデアや、価値あるものを後世に残すべく保存、展示、活用する工夫が必要です。市民にとって何気ない日常の風景も含め、改めて「価値」と捉えることは、来訪する観光客が楽しむということだけでなく、市民の心地よい暮らしを目指していくものになります。

エコミュージアムは、**地域全体を「生きた博物館」として捉えるまちづくりの考え方**なのです。

### エコミュージアムをつくるのは誰？

通常、ミュージアムと言えば、美術館や科学館、博物館や歴史資料館など、それぞれの分野の専門家が中心となって展示内容を考え、つくっていきます。

一方、エコミュージアムは、従来の博物館のように建物の中に資料を集めて展示するだけでなく、**地域全体を展示室と捉え、展示するものは本来の場で保存活用しよう**というものです。博物館の学芸員のようにこのまち

を紹介する人、エコミュージアムをつくっていく城陽市の専門家とは、いったい誰なのでしょう？ **それは、城陽市で暮らす市民に他なりません。**

新しく建物を建設するのではなく、多様な視点で城陽にある「魅力」にスポットライトを当て、**城陽の「良いところ」を有機的につなげていく**ことがエコミュージアムをつくることなのです。



## エコミュージアムはその土地ごとの文化や風土によって違うもの？

エコミュージアムは、地方を活性化していくためのまちづくりの手法のひとつではありますが、**展開や発展の仕方は、その土地にある資源、課題などによりさまざま**です。

例えば、1989年に日本で初めてエコミュージアムに取り組んだ山形県朝日町では、「町民だより」にハガキを付け、「〈朝日町の宝〉を教えてください」と募ったところから始まりました。直接の聞き取り調査をし、方言はそのままテープ起こしをし、テーマごとに冊子を作成し、「個の記憶を公の記憶に変えた」そうです。そのようにして集まった朝日町の宝の活用は、その後冊子として販売したり、学校や公民館でパネル展示したり、実際に「宝の持ち主」から解説をしてもらう見学会をしたり、専門家にも補足してもらう形のシンポジウムをしたりと、どんどん広

がっています。

また、福井県勝山市では、2000年に恐竜エキスポで機運が高まったことや、当時、周辺の集客施設と旧市街地がリンクしていなかったことから、点から線へ、線から面へのまちづくりが求められると認識していたこと、古いものを伝承していきたいという声があり、2002年からエコミュージアムの取り組みが始まりました。恐竜エキスポのあった2000年に200万人を超えていた観光客数は、一時期半分に落ち込んだのですが、近年はエコミュージアムの取り組みの展開による効果もあり、再び200万人を超えています。現在の課題は、個々の地域資源などをさらに有機的につなげていくことだそうです。



## 城陽市でエコミュージアムをつくっていくには？

エコミュージアムをつくっていくには、**城陽市にあるさまざまな魅力を探し、つなげ、伝えていく必要**があります。

まずは、城陽市にある魅力をあらゆる角度から掘り起こすことです。これには、**城陽市民の視点と目線が必要**です。若者の感覚から、高齢者の感覚まで、また、子育てをしている人の感覚、働いている人の感覚、商売をしている人の感覚、農業をしている人の感覚、公共の仕事をしている人の感覚など、幅広く必要です。この作業は、市役所だけでは実現で

きません。

そして、意外なもの同士でも「これとこれをつなげたらおもしろいのでは？」「あの人の関わってもらうと、この場所の魅力が増すのでは？」などの遊び心を持って、自由に発想していくことで、城陽の魅力に自分たちも新たに気づき、また訪れる人たちにも紹介できるのではないのでしょうか。

**みなさんの主体性を大いに発揮していただき、みんなで城陽版エコミュージアムをつくり上げていければと思います。**

# 城陽市の地域資源

エコミュージアムの中で、現地に保存された展示物として設定される地域資源は、さまざまなものが該当します。

ここでは、歴史資源、自然資源、産業資源、施設資源、その他に分類して整理しました。

## 歴史資源

城陽市の歴史にまつわる地域資源です。先人が築き上げてきた史跡、神社仏閣、建造物、石碑などが該当します。

## 自然資源

城陽市の自然を幅広く地域資源と捉えます。山や川、花・樹木などだけでなく、季節の移ろいとともに変化する風景も該当します。

## 産業資源

城陽市における多様な産業に関わる地域資源です。農産物のほかに、酒造りや金銀糸生産なども該当します。

## 施設資源

城陽市にある施設・公園なども地域の資源です。市民をはじめとした人々が集い、活動・交流する場が該当します。

## 城陽市役所選 ～城陽市の魅力、地域資源一覧

市では、エコミュージアムに取り組んでいくために、さまざまな地域資源の掘り起こしを進めています。以下に掲載しておりますのは、市内に数多くある地域資源の中でも、代表的なものの紹介です。

よく知っているもの、初めて知るものなどがあるでしょうか。



### 歴史資源

国指定史跡

#### 1 森山遺跡 富野森山



#### 【遺跡の概要】

縄文時代から古墳時代にかけての集落遺跡。

縄文時代の竪穴住居跡や配石遺構、埋石が見つかった。竪穴住居は、直径約10mの大型のものと4～5mの小型のものがある。

古墳時代の竪穴住居跡と方形周溝状遺構も見つかった。方形周溝状遺構は周囲に溝をめぐらせた有力者の館跡と考えられる。

#### 【整備内容】

平成5～7年度に歴史学習の場として整備を行った。縄文時代の大型竪穴住居1棟は骨組みを復元し、小型竪穴住居3棟は、遊具などで表示をしている。古墳時代の館跡（方形周溝状遺構）は北半分を復元し、南半分は遺構の平面表示を行っている。

### 歴史資源

国指定史跡

#### 2 芝ヶ原古墳 寺田大谷、平川山道



#### 【古墳の概要】

前方後方形の古墳で、後方は東西約21m（北辺）×南北約23m（東辺）ある。後方の中心には組合式木棺が納められており、銅釧や銅鏡、玉類などが出土している。築造時期は、墳丘の形態や出土した土器から3世紀前半と考えられる。

#### 【整備内容】

平成18～25年度にかけて、歴史学習の場として活用できるように整備を行った。古墳は築造された当時の姿に復元し、周辺の地形についても古墳築造時の地形を活かして整備を行っている。また、見学者が休憩できる場所として、休憩室・トイレを設けている。

#### 【その他】

出土品は一括で重要文化財に指定されており、城陽市歴史民俗資料館で展示されている。



### 3 久津川車塚古墳

平川車塚



#### 【古墳の概要】

5世紀前半に築造された山城地域最大の前方後円墳で、三段に築かれた墳丘には葺石と埴輪列が施され、周囲には二重に周濠がめぐる。外濠を含めた全長は272m、墳丘長は180mある。埋葬施設は長持形石棺を直接埋めたもので、石棺の内外からは鏡・玉類・武具・武器など多くの副葬品が出土している。南山城地域を支配した大首長の墓と考えられる。

#### 【現在の状況】

3カ所に説明板を設置し、墳丘西側に仮設の見学コースを設けている。

### 4 丸塚古墳

平川車塚



#### 【古墳の概要】

5世紀前半に築造された前方部が短い帆立貝形の前方後円墳で、墳丘には葺石と埴輪列が施され、周囲には周濠がめぐる。周濠を含めた全長は104m、墳丘長は80mある。

高さが1mある大型の家形埴輪が出土している。

久津川車塚古墳を築いた大首長の地域支配を支えた最も有力な首長の墓と考えられる。

#### 【現在の状況】

古墳の南東にある公園内に、説明板を設置している。

#### 【その他】

家形埴輪は城陽市歴史民俗資料館で展示している。

### 5 芭蕉塚古墳

平川茶屋裏



#### 【古墳の概要】

5世紀中頃に築造された前方後円墳で、二段に築かれた墳丘には葺石と埴輪列が施され、周囲には周濠がめぐる。周濠を含めた全長は161m、墳丘長は114mある。埋葬施設は、後円部で粘土槨が見つかった。久津川車塚古墳に続いて南山城地域を支配した大首長の墓と考えられる。

#### 【現在の状況】

古墳の南東側に説明板を設置している。

### 6 芝ヶ原古墳群

久世芝ヶ原、寺田大谷



#### 【古墳の概要】

5世紀前半から6世紀前半にかけて築造された前方後円墳2基、円墳10基からなる古墳群。

9～11号墳は、5世紀初めから中頃に築造された大型の円墳である。埋葬施設は粘土槨で、11号墳からは三角縁神獣鏡など、9号墳からは朝鮮半島の土器である陶質土器が出土している。

1～8号墳は、6世紀前半に築造された前方後円墳と円墳である。

13号墳は、方墳または円墳で、築造された時期は分かっていない。

#### 【現在の状況】

久世神社境内地にある1～7号墳と8号墳の一部は史跡久世廃寺跡の史跡指定地として、9号墳は久世小学校古墳として国の史跡に指定されて久世小学校内に、13号墳は緑地として、計10基が保存されている。

## 7 上大谷古墳群

久世上大谷



## 【古墳の概要】

3世紀前半から7世紀前半にかけて築造された前方後方墳2基、方墳8基、円墳10基の20基からなる古墳群である。埋葬施設は、粘土槨、木棺直葬、横穴式石室である。各古墳から出土した銅鏡3面（夔鳳鏡、飛禽文鏡、だ龍鏡）は、市指定文化財となっている。

## 【現在の状況】

移築した横穴式石室1基を含めた11基が保存されている。

## 8 黒土1号墳

中黒土



## 【古墳の概要】

6世紀中頃に築造された南北約30m、東西約26mの楕円形の円墳で、南西方向に開口する全長約9.5mの横穴式石室をもつ。

出土遺物には、須恵器、土師器、耳環や馬具片などの金属製品があり、一括で市指定文化財となっている。

## 【現在の状況】

中天満神社の境内地に保存されており、説明板を設置している。横穴式石室は埋め戻されている。

## 9 正道官衙遺跡

寺田正道



## 【遺跡の概要】

8世紀前半から9世紀前半の大型の建物群が方位をあわせて計画的に配置されており、その規模や構造から、奈良時代の山背国久世郡の郡役所跡と推定されている。四方に庇をもつ最も大きな建物が、中心建物である庁屋と考えられている。その後方に副屋と正倉、前面に東屋と向屋、南に門を配置している。

## 【整備内容】

平成2～4年度にかけて歴史学習の場として活用できるように整備を行った。奈良時代の官衙の中心建物である庁屋、副屋、南門は柱や梁・桁などの骨組みを復元し、東屋、向屋、正倉は柱跡の平面表示を行っている。

## 10 平川廃寺跡

平川古宮



## 【遺跡の概要】

8世紀に造営された寺院で、塔を西、金堂を東に置く法隆寺式の伽藍配置をもつ。寺域は、東西約175m、南北約115mと推定される。塔跡の基壇は一辺が17.2mあり、国分寺の塔に匹敵する規模がある。

金堂跡の周辺からは、粘土などで形作られた塑像片が出土しており、市指定文化財となっている。

## 【現在の状況】

塔跡と金堂跡の範囲が史跡指定地として保存されており、説明板の設置や植栽による遺構の表示を行っている。



## 11 久世廃寺跡

久世芝ヶ原



### 【遺跡の概要】

7世紀に創建された寺院で、塔を東、金堂を西に置く法起寺式の伽藍配置をもつ。寺域は、東西約120m、南北約135mと推定される。

南門跡からは、像高9cmの銅造誕生釈迦仏立像が出土している。

### 【現在の状況】

久世神社の境内地として保存されており、久世神社社務所の西側で塔と金堂の基壇を示す土盛りを見ることができる。神社本殿の南には説明板を設置している。

## 13 水度神社本殿

寺田水度坂



水度神社は、旧寺田村の産土神で、現在の本殿は室町時代の文安5年（1448年）に造営された。

建物正面の柱間は一間、側面は二間で、屋根正面の主屋が前に張り出し、やや反り気味の形をした「一間社流造」である。檜皮葺の屋根正面の途中には「千鳥破風」が、向拝上部には笹竜胆を彫り込んだ「墓股」などがあり、意匠の凝った優美な建物である。

## 12 久世神社本殿

久世芝ヶ原



久世神社は、旧久世村の産土神で、江戸時代には「天神社」であったが、明治初年に「久世神社」と改められた。現在の本殿は、細部の様式から室町時代中期頃に造営されたと推定されている。

正面の柱間が一間の「一間社流造」で、屋根は檜皮葺である。正面格子戸の上には唐草模様の透彫があしらわれている。

## 14 荒見神社本殿

富野荒見田



荒見神社は、江戸時代には「氏神社」と呼ばれ、富野・長池集落の産土神で、現在の本殿は江戸時代初期の慶長9年（1604年）に造営された。

檜皮葺の屋根をもち、正面柱間が三間の「三間社流造」で、市内の神社建築では最も大きな規模を誇っている。もとは長池の東方山中の「五社ヶ谷」にあったが、室町時代に現社地に遷されたといわれている。

## 15 荒見神社境内社・御霊社

富野荒見田



荒見神社本殿の南側に建つ小規模な「一間社流造」、檜皮葺の社で、江戸時代初期の元和9年（1623年）に造営された。

建物全体の意匠は簡素な構成になっていて、「葦股」は本殿のものより古く、室町時代後期頃の特徴を示しているが、組物や向拝頭貫の木鼻などは近世のものである。

## 16 荒見神社神門・透垣・中門

富野荒見田



神門は本瓦葺の一間薬医門、透垣は棧瓦葺、中門は檜皮葺の一間棟文で、それぞれ近世の寺社の景観をよく伝える。透垣と中門は平成27年12月に修理が完了している。

## 17 旦棕神社本殿

観音堂甲畑



旦棕神社は、旧観音堂村の産土神で、江戸時代は「冑大明神」と呼ばれていたが、明治初年に「旦棕神社」と改められた。

本殿は覆屋内にあり、正面の柱間が二間ある柿葺の「二間社流造」である。華やかな装飾が施され、彩色もよく残っている。規模は小さいものの、荒見神社本殿と共通した細部をもつことから、江戸時代初期の造営と考えられている。

## 18 天満神社本殿（市辺）

市辺城ノ下



天満神社は、旧市辺村の産土神で、市辺の集落から離れた山麓の小高い場所に鎮座する。

屋根は檜皮葺で、小規模ながらも本格的な「一間社流造」の構造をとっている。細部は、荒見神社本殿と共通する手法を用い、同じ工匠の手により、同時期に造営されたと考えられる。



19

## 平井神社本殿・末社若宮八幡社本殿・鳥居

平川東垣外



平井神社は、江戸時代には「牛頭天王社」と呼ばれ、行疫神「牛頭天王」を祀る社だったが、明治2年（1869年）に「平井神社」と改称した。

本殿は、江戸時代初期の正保2年（1645年）に造営され、「一間社流造」の構造をもつ。象鼻を彫刻した海老虹梁で身舎と向拝をつなぎ、中央に墓股が置かれている。これら細部の装飾は、桃山時代の意匠をよく伝えるものである。

末社若宮八幡社本殿は、本殿の東側に鎮座する「一間社流造」の建物である。建立年代は不明だが、細部の装飾に本殿との共通性がみられることなどから、本殿とほぼ同時期に建立されたと考えられる。

鳥居は、石造明神鳥居で、東側の石柱に刻まれた銘文から江戸時代初期の貞享2年（1685年）に造立されたことが分かっている。

20

## 天満宮社本殿（枇杷庄）

枇杷庄大堀



天満宮社は、旧枇杷庄村の産土神で、もとは現社地より30m南に鎮座していたが、昭和35年（1960年）に木津川の堤防が改修された際、現社地に遷された。

本殿は、正面の柱間が三間、側面が二間の「三間社流造」である。昭和37年（1962年）の修理で、屋根は檜皮葺から鉄板葺に改修された。

なお、棟札から、江戸時代前期の寛永4年（1627年）に富野地区などの近在の大工たちによって造営されたことが分かっている。

21

## 水主神社本殿

水主宮馬場



水主神社は、『延喜式』神名帳に記載のある式内社で、旧水主村の産土神として古くより信仰を集めている。

江戸時代後期の寛政10年（1798年）に造営された本殿は、檜皮葺の「一間社流造」で、墓股や妻飾などに独特の彫刻装飾を施す個性豊かな建物である。

22

## 三縁寺大門

寺田中大小



左右両脇の太い円柱が屋根を支える、禅宗様の向唐門で、寺では「大門」と呼ばれている。柱間が一間、その中に扉がある「一間一戸向唐門」で、もとは柿葺だったが、現在は棧瓦葺となっている。唐破風の屋根の曲線は、桃山時代の技法による向唐門の特徴をよく示している。

この門は、明治18年（1885年）に、京都の建仁寺にあった護国院開山堂の表門を移築したものである。

## 23 おかげ踊図絵馬（水度神社）

寺田水度坂



文政13年（1830年）11月1日に寺田村北東町の人々が水度神社に奉納したおかげ踊りの情景を描いた絵馬で、天保2年（1831年）正月に水度神社に奉納された。

画面全体に踊りに参加した109人の村人たちの姿を生き生きと描いている。

## 24 おかげ踊図絵馬（中天満神社）

中黒土



慶応3年（1867年）に中村の人々が、天満神社神前で奉納したおかげ踊りの情景を描いた絵馬で、中村が画家華雪に注文し天満神社に奉納された。

揃いの衣装で整然と踊る村人たちの様子を描いている。

## 25 木造阿弥陀如来立像（極楽寺）

富野南垣内



ヒノキの一木割削造で玉眼を入れている。近年の修理に際し、像内から見つかった4種類の文書から、仏師快慶の後を引き継いで、弟子の行快が嘉禄3年（1277年）頃に完成させたと考えられる。行快の作例を知るだけでなく、快慶の没年を考える上でも貴重な像といえ、仏教史上でも意義深い文書を納入した極めて貴重な作例といえる。

## 26 玉池の夜叉ばあさん伝説

寺田水度坂



寺田水度坂の旧大和街道と水度神社参道の交差点南東側にある池は玉池と呼ばれている。池の北側の参道には並木が続いており、そのうちの1本に老女の顔に見えるコブができており、「夜叉ばあさんの人面木」と呼ばれている。

夜叉ばあさんとは、玉池の前に住んでいた女性で、7回嫁いだが戻ってきて尼さんようになっていて、最後は池に身を投げたという。寺田の共同墓地には夜叉の墓がある。嫁入りの行列は玉池のそばを通ると縁起が悪いといわれ、わざわざ遠回りしたという。



27 城陽市内に生息する名木・古木  
市内全域



緑化啓発の一施策として、城陽市に生育する古い木、大きい木、珍しい木等で、市民みんなの文化財として後世に残していきたい木を「城陽市名木・古木選定委員会」が選定し、緑に対する意識の向上を図ることとしている。現在36本認定。

28 花の小径  
観音堂



日本の4大産地にも数えられ、市の花ともなっている花しょうぶや、カキツバタ、花ハスなどの湧水花き類を見てもらおうと、市が農家の協力を得て平成8年に整備した。総延長約500mあり、コースがわかるように木製の標識も設置している。

29 青谷梅林  
中、市辺



市の木である梅が咲き誇る府内最大の梅林。その歴史は古く、鎌倉時代末期にはあったとされる説や、江戸時代に淀藩の奨励により植えられたという説がある。現在は、約20haの面積に約1万本の梅が植えられており、主な品種は「城州白」。2月から3月にかけては約1万本の梅が咲き誇り、大きな白布を広げたように白一色となり、どこまでも梅の香りに包まれる。毎年、この時期には青谷梅林梅まつりが開催され、多くの観梅客で賑わう。

30 鴨谷の滝  
奈島高塚



本市東南部に位置し、周りを豊かな自然に囲まれた京都府の自然200選にも選ばれた滝。周囲には鴨谷の滝のほかに椎尾ノ滝が存在する。城陽市観光協会では、毎年8月上旬に鴨谷の滝を巡るツアーを実施しており、案内とともに豊かな自然を楽しめる。

自然資源

31 鴻ノ巣山  
寺田宮ノ谷



標高117.9mの山。

この山に「こうのとりの巣」が築されると豊年になるといわれる、大切にされたことから山名になったとの説がある。

昔は、松茸が採れる山でもあった。

現在は、散策道として整備されており、多くの人を訪れる。

山頂の山背展望台からは、眼下に城陽市街が広がり遠くには生駒山・愛宕山・比叡山の山並みが見渡せる。周辺にはさくら見台・花しょうぶ池・やすらぎの広場があり、緑豊かな自然や四季折々の花・木が楽しめ、さわやかな緑陰のなかで森林浴を満喫することができる。

自然資源

32 天山  
中黒土、北石神



「青谷絶賞」にある青谷八勝の一つで青谷地域の中央に位置する104mの山。

また、青谷小学校の校歌にも歌われており、古くから地元で親しまれている。

平成26年1月に、「天山散策道」として散策道を設置し、山頂まで歩くことができる。

産業資源

33 島畑  
枇杷庄、寺田など市内各地域



水田の中に畑が島のように分布している耕地。

かつてはナシやワタが栽培され、現在は城陽の特産であるイチジクが多く栽培されている。

洪水によって堆積した土を田の1カ所に集めて畑にし、砂地を切り下げて低い部分の水田にしている。1カ所の耕地を田と畑にすることによって洪水とつきあいながら田畑を維持する先人の知恵をみることができる。

産業資源

府景観資産

日本遺産

34 上津屋の茶畑  
上津屋



木津川の清流と自然仕立ての茶畑と茶畑を洪水被害から守る竹林とが一体となった調和のとれた景観が広がっている。

遠くに流れ橋や愛宕山も見える。

平成27年4月に、日本遺産「日本茶800年の歴史散歩」の構成文化財の一つに認定された。平成27年6月には、京都府景観資産にも登録された。



## 35 イチジク

寺田、枇杷庄、富野、観音堂 他



## 【歴史】

昭和8年に寺田地区の岩見氏が、奈良県から樹井ドーフィンの苗を導入して栽培したのが始まりとされている。

昭和25年には古くから栽培されていた梨をイチジクに更新し、優良苗を増殖して栽培農家に配布して技術指導が行われ、寺田地区、富野地区に普及した。

昭和45年以降は、米の生産調整の転作作物として、収益性もよく、収穫期以外管理が容易であることから多くの農家に普及した。

栽培面積約20ha、栽培農家約120戸、出荷量約450t

## 【品種】

樹井ドーフィン

## 36 てん茶

久世、上津屋、寺田、水主、富野、奈島、市辺 他



茶畑を収穫する20日ほど前から、寒冷紗や昔ながらの「こも」や「ほんず」で覆うことで直射日光を避けて、うまみを増やして苦みを抑えるようにして育てる。その後、新芽を手摘みや機械刈りなどで収穫し、茶葉を蒸した後揉まないで作るてん茶の荒茶を作る。てん茶の荒茶を問屋で加工し、石臼で挽いたものが抹茶となる。

てん茶は、木津川の河川敷付近を中心に、一部青谷の山地や平川の市街地内でも栽培されている。

木津川付近の茶畑は砂地で、直根が地中深く入るため、松のような濃い緑になる。

栽培面積約30ha、栽培農家約25戸、出荷量約28t（畑から摘んだ茶を一次加工したもの）

## 【品種】

さみどり、あさひなど

## 37 梅（城州白）

中、市辺



## 【歴史】

城陽の梅栽培の歴史は古く、江戸時代の安永年間に青谷地区で数十本栽培されていたとされ、その後、天保年間から安政年間に著しく増加し、「青谷の梅」と呼ばれるようになった。当時は、紅の原料や媒染剤として烏梅の生産が主力で、これは、京染めが行われていたことにより需要があったことからであるが、京染めが衰退するとともに栽培も減少してきた。しかし、明治7年ごろから生梅の食用としての需要が開け、大粒の城州白を中心に生産量は増加している。徒長枝は、「ズアイ」「コクセン」として正月前に出荷されている。

栽培面積約20ha（約1万本）、栽培農家約50戸、出荷量約125t

## 【品種】

中地区、市辺地区の丘陵地を中心に、小梅がオタフク、ダルマなどで、大梅が、早生の白加賀、鶯宿、晩生の城州白など。

## 38 寺田いも

久世、寺田



## 【歴史】

城陽のサツマイモ栽培の歴史は古く、江戸時代の享保年間といわれている。当時、長池の薬問屋を営む嶋利兵衛が、壱岐の島から種芋を持ち帰り、栽培方法などを農民に普及し、富野地区、寺田地区で栽培されたといわれている。なかでも、寺田地区の荒州（木津川の氾濫で出来た水はけのよい砂地の畑）で栽培されたサツマイモがおいしいと評判になり「寺田いも」と呼ばれるようになった。

栽培面積約15ha、栽培農家約50戸、出荷量約250t

## 【品種】

時代とともに改良され、かつては高系14号が中心であったが、今では色も鮮やかで甘みのある金時、紅はるか、紅あずまの作付けが多い。

## 39 花しょうぶ

観音堂 他



江戸系の村雲、初霜（切り花用）、桂男（切り葉用）が栽培されている。城陽の栽培の特徴は、地下水の温かさを利用した促成栽培である。

地下水は、年中16～17度と一定の水温であることから、12月に掛け流しをすることで、発芽を促成し、通常の開花期（6月）よりおよそ1カ月早く開花するよう栽培している。

花しょうぶは、端午の節句の花として親しまれ、5月5日のこどもの日に出荷できるようにしている。

栽培面積約3.7ha、栽培農家16戸、出荷量約1,121千本

## 40 カキツバタ

観音堂 他



地下水の温かさを利用した促成栽培。

地下水は、年中16～17度と一定の水温であることから、12月に掛け流しをすることで、発芽を促成し、通常の開花期（6月）よりおよそ1カ月早く開花するよう栽培している。

城陽のカキツバタ栽培は、昭和初期から始まったといわれている。

栽培面積約3.9ha、栽培農家11戸、出荷量約256千本

## 41 カラー

観音堂 他



城陽で栽培されているカラーの品種は、チルドシアーナが主流であったが、病気に弱く、近年では、ウエディングマーチが主流となっている。

ウエディングマーチは、チルドシアーナに比べ病気には強い品種で、軸が太く花が小さいのが特徴である。

カラーの栽培もカキツバタと同時期といわれ、昭和初期から始まったといわれている。

栽培面積約1.7ha、栽培農家8戸、出荷量約421千本

## 42 花ハス

観音堂、市辺 他



城陽で栽培されているハスは、1970年に姫路より持ち帰った通称イケハスが市域に広がったものである。

ハスの栽培も花しょうぶ同様に、地下水を利用した栽培であるが、地下水の温かさを利用した促成栽培ではなく、湿地を好むハスにとって豊富な地下水をかけ流し栽培している。

栽培面積約8.5ha、栽培農家7戸、出荷量約195千本



43 金銀糸  
市内各所

金箔を使って生産するものとポリエステルフィルムを使って生産するものがある。

現在はポリエステルフィルムを使って生産されたものが主流となっている。

主な用途としては、金襴、帯などの和装織物や刺繍用に使われている。

その他、洋装やニット、インテリアなどに使用されている。

44 梅酒  
奈島久保野

城陽の特産である城州白(梅)という肉厚で香り高い大粒の実を原材料とした梅酒。

海外にも出展し、好評を博している。

香りが良く味も良い。また、健康にも良い。

45 城陽市歴史民俗資料館  
寺田今堀

平成7年11月に開館し、平成19年4月に常設展示室をリニューアルした。

常設展示室は城陽市の歴史が分かる通史展示を行っている。

特別展示室では年間2回の特別展と2回の企画展などを実施している。

普及活動として、年間約20回の勾玉教室他、体験教室などを実施している。

資料館の愛称「五里ごり館」、マスコットキャラクター「ごりごりくん」は平成19年のリニューアル時に公募で選ばれた。

46 文化パルク城陽  
寺田今堀

平成7年11月に誕生し、昨年開館20周年を迎えた。近鉄寺田駅から徒歩圏内に位置し、平成15年に1,000万人、平成24年に2,000万人の来館者を達成した。

文化ホールその他、会議室や音楽スタジオなどの貸出用施設、プラネタリウム、子どものためのプレイルーム、図書館、歴史民俗資料館、コミュニティセンター、市民活動支援センター、レストランなどさまざまな施設が一体となった大規模複合型施設となっている。

また、3階屋上部分に本格的な茶室がある。

## 47 コミュニティセンター

市内6カ所（平川広田、富野東田部、枇杷庄知原、寺田正道、市辺五島、寺田今堀）



コミュニティセンターの設置基準は、基本的には中学校区を一つのエリアとしている。

各コミュニティセンターは、図書館的機能、児童館的機能、高齢者憩いの家的機能、社会教育的機能を合わせ持ち、地域に欠かすことのできない施設となっている。

## 48 城陽市総合運動公園

寺田奥山、寺田大川原



城陽市東部の丘陵地に位置し、京都府立山城総合運動公園、京都府立木津川運動公園、ゴルフ場に隣接する。

緑に囲まれた市民の余暇活動の拠点、気軽に利用できる親しみのある公園、運動・レクリエーション施設を中心に地域文化を育む施設を有する公園として整備された。

体育館、テニスコート、野球場、多目的広場等を有するスポーツゾーン（7ha）と大型遊具、ローラースライダー、大芝生広場を有するレクリエーションゾーン（9ha）の16haで構成され、城陽市民だけでなく他府県の方々など広域的に利用されている。

## 49 京都府立木津川運動公園

富野北門



城陽市東部の丘陵地西端部に位置する。

大きな芝生広場や多目的広場などでは幅広い世代が気軽にスポーツやレクリエーションを楽しめる。修景池や参画・再生の森などでは自然観察や環境教室、森づくりなど、公園にいる生きものや山砂利採取跡地が緑豊かな自然再生の森に移っていく過程を学んだり、体験したりすることができ、自然の素材を使ったクラフトなども楽しめる。

苗木から大きな森を育て、府民がいろいろな活動の場として活用し、みんなで育てていく公園となっている。

## 50 サンガタウン城陽

久世上大谷



城陽市東部の丘陵地に位置し、京都府立山城総合運動公園と本市総合運動公園の中間にあたる場所にある。

京都サンガF.C.の選手たちが日々の練習に取り組んでいる練習場で、施設内にはサンガ練習グラウンド2面、人工芝グラウンド1面、フットサルコート3面がある。練習グラウンドの周囲には見学ゾーンが設置されており、迫力あるプレーを至近距離で見られるだけでなく、選手たちとのふれあい、サポーターやファン同士の交流が図れる。



## 城陽市民選 ～城陽市の魅力、地域資源

城陽未来まちづくり会議の開催にあたり、無作為に抽出しました1800人の市民の方を対象に、8月末にアンケートを依頼しましたところ、385人の方からご返答をいただきました。

以下に掲載していますのは、「城陽市の好きなところをあげてください。もの、人、風景なんでも構いません。」という問いに対して、答えてくださった内容を簡単に分類したものです。

共感すること、あるいは初めて知ることなどがあるでしょうか。



★…事前配布資料に加え、会議当日に出された意見のうち、新たなものについて掲載しています。

### 歴史資源

- 古墳がいっぱいあること（久津川車塚古墳、芝ヶ原古墳など）
- 森山遺跡（家の近くにあって、いつも緑がきれいで落ち着きます）
- 荒見神社の井戸
- 水度神社、久世神社、荒見神社等、緑が多く、大好きな場所です。
- 水度神社、久世神社等、歴史のあるものが多い
- 水度神社は初詣も毎年必ず行きますが大好きです。（おごそかです）
- 水度神社は孫のお宮参りをさせていただく他、いつも参拝して気持ちが落ち着きます。
- 水度神社から鴻ノ巣山に登り運動公園に抜ける所。癒される。
- 平井神社は隣に交番があり、安心して遊べる公園もあります。
- 山背古道はハイキングするのに最適です。
- ★久世小学校の中に古墳
- ★古墳や神社が自転車で行ける範囲であるので、色々と散歩できて楽しい
- ★久津川車塚古墳の発掘調査が進んでいる
- ★縄文時代からの遺跡がある
- ★万葉集に歌われた神社がある
- ★万葉集に登場する鷲坂がある
- ★遺跡が多いことがうれしい
- ★極楽寺の阿弥陀如来像が「快慶」最後の仏像ですごい
- ★水主神社



### 自然資源

#### 風景

- 城陽市民体育館までのグリーン
- 木津川沿いのサイクリングロードからの風景（河川敷運動広場など）
- 城陽酒造の建物から酒造りの時の様子が分るとき（湯気がでてたり）
- 富野小学校横のハス池から堤防までの散歩道が好きだ。
- 緑が多く、自然も多く、のんびり過ごせるところです。
- 秋の公園や道端に彼岸花が咲いている風景
- 城陽市は緑が多く、ハスの花など、未来の子ども達のためにこのまま自然を残してほしい。
- 鴻ノ巣山展望台から眺める南山城盆地の風景
- 水度神社から鴻ノ巣山運動公園へつながっていること。とても良い運動となって楽しんでいる。
- 鴻ノ巣山が手軽に登れて丁度よい
- 保健センターの裏の田園風景が広々として好きだ
- 文化バルク城陽と周辺の田んぼの景色が好きです。（春夏秋冬が違って良いです。）
- 鴻巣山、木津川、田んぼなど美しい風景がたくさんあってすばらしいと思います。就職活動の際も地方の企業から内定をいただいても城陽から出たくないため辞退したほどです。
- 木津川が美しい
- 木津川堤防から見える風景（虹も）
- 木津川の河原がゆったりしている
- 木津川右岸、桜並木通りから見る西方 真赤な太陽、夕焼け雲
- 木津川の堤防から見る近鉄電車
- 木津川の自然（昆虫・魚（タナゴ））
- 夕日がキレイ。（城陽高校から見える夕日）
- 正道官衙遺跡から見る夕日（特に梅の花の頃）
- 水度神社参道から見る太陽



- 朝、通勤で平井神社のそばを通る時、セミの鳴き声を聞くと暑い夏の季節を感じます。木々は手入れもされており雰囲気もよい。
- 寺田ですと、川沿いの樹木、文化パークの周りの木々
- 水度神社からの景色がキレイ
- アイリスイン周辺の環境
- 青谷保育園のどんがり帽子。青い屋根の三角帽子が園にふさわしく夢のある建物が私は好きです。
- 空がよく見えて星がとてもきれいなところ。(建物が乱立していないので、空が広く見えるため。)
- 市辺天満神社辺りの自然(畑の水生植物のメダカ・ヒメホタル)
- 杜若園芸の水生植物
- 青谷の農業(米、梅、いちじく、ハス)
- 鴻ノ巣山運動公園の前の道路の街路樹→車で通っていて緑がとてもきれいです。
- 観音堂らへんのハス畑や家並み
- 秋の稲の刈った後の束がまとまっておいてある風景がすてきだ。
- 流れ橋
- いちじく畑の広がる風景
- てん茶(浜茶)の風景
- 茶畑の景観がきれいだ。
- 蓮畑の風景がとても好きです。
- ★アルプラザ近くの水路(地下水)のあたりにいる鳥が美しい
- ★田んぼの風景が春夏秋冬で変化してキレイ

## 花・木

- 季節を感じる花や木々(水度神社周辺から南都銀行にかけての桜並木)が多い
- 梅の花がきれい
- 青谷梅林の梅
- 鴻ノ巣山と鴻ノ巣山運動公園の桜
- 桜並木
- 木津川の桜づつみ(だいぶ桜の木も大きくなり、見応えがあるようになってきました。)
- 富野～青谷の堤防沿いは桜他色々な木や花が咲き楽しませてくれて良い
- 木津川堤防のエノキ
- 私の近所の生花の移り変わり(カラー、菖蒲、ハス、梅、桃 etc)
- 観音堂花しょうぶ等花畑
- 所々に道沿いにハスや菖蒲が咲いているのが好きだ
- ハスの花畑も多く、夏には癒されます。
- 文化パーク南側のハスの花。心があらわれます。
- ハスの花→場所はどこもですが、とてもきれいだ。このようなところは見たことがない。

- 文化パークの池のスイレン(夏)
- アルプラザ城陽西入り口道路のハスの花
- 金木犀の香り(秋祭りの頃、歩いていると家々の塀の中からそこはかとなくただよってくるなんともいえない香り。御神燈をみながら通り過ぎます)
- 保健所東畑のレンゲ花が好きです
- 久津川ひだまり東側レンゲ畑です
- 今池川-古川の桜並木と野草の花
- 四季折々の自然が楽しめます。
- 自然が多くて、静かなのが良い。
- ★カラー(花)がきれい
- ★平川の桜は地元の人の花見場
- ★西の方の蓮の池、花が開く瞬間「パカッ」と音がする
- ★青谷の梅林の花の香りがいい
- ★梅林がコンパクトで見やすい

## 産業資源

### 農作物

- 寺田のあらず芋畑
- 桃畑
- いちじく(毎年栽培農家から、数軒の知り合いに郵送してもらっています。とても喜ばれます!)
- 他の産地のいちじくより美味しい
- 朝取りいちじくがおいしい
- 富野で営農(主にいちじく)今崎さんちの「いちじく」は城陽ブランドの名にふさわしく美味で時期がくると待ちこがれている親戚、友人にドッと送り届けて喜ばれています。
- いちじく、芋等、名産物があり、おいしい
- 生産農家先でのいちじくや野菜の販売(新鮮品あり)
- 青谷の梅がおいしい
- 青谷梅林の梅まつりの際買った地元の方が漬けた梅干。亡き母が漬けたものと同じような味で、煮魚やいろいろな料理に重宝しています。
- 五里五里の里に売っている、青谷の梅ぼしが美味しかったです。
- 他府県へ行った際、青谷の梅をおススメで置いているお店があると、営業活動を頑張ってる人だなあともし自分も頑張ろうと励みになる。
- 城陽はおいしい物が多く、農家さんの野菜も良く買います。
- 旬菜市で売られているなす、きゅうり、はちみつ、トマト、いちじく
- 倉田さんのトマト、いちじく
- 自宅前でカゴでお野菜を売っている所を数ヶ所見ますが、安いしおいしいし人がいいってことだと嬉しく思います。
- 寺田いもがおいしい。そのままでも美味しいですが、甘さ・





繊維量にお菓子作りに適している。

- 茶
- 城陽産の桃が好きだ(手に入りにくい)
- 城陽市は特産品が多い(青谷の梅、寺田いも、いちじく、蓮etc…)のに、まだまだ知名度が低くてもったいないと思います。
- ★梅の実が大きくて美味しい
- ★イチジクがおいしい 大きい 生産量が多い
- ★完熟のイチジクが食べられる
- ★広い範囲でイチジクの栽培・販売がされている
- ★さつまいもがおいしい。(古人の思いで守り育てられたさつまいもが今も大切に育てられている)
- ★城陽のサツマイモは長池の島利兵衛氏がちゃんまげに隠して持ち帰り飢饉に備えたのがはじまり
- ★てん茶の生産がさかん
- ★年間を通して特産物がある

## 酒

- 城陽酒造の酒かすや原酒がうまい
- 城陽の地酒 たれくち酒、安くておいしい
- 青谷梅林の梅を使った梅酒
- 城陽酒造の酒蔵も好きです。
- 全国でも戦えるくらい、城陽酒造は日本酒も梅酒も美味しく大好きです。
- 城陽酒造の蔵開き

## お菓子

- 三隆屋の和菓子
- 松屋の鮎
- きねやの和菓子が伝統的かつおいしいところ
- 和菓子(若松)屋さんの苺大福
- 与楽のいちご大福、グレープ柑
- 与楽の和菓子はいつ食べてもおいしくて好きです。私の地元でも好評です。
- 栗太郎の栗パイ(白あずきあん)がめずらしくおいしい
- 城陽駅の近くの古びた和菓子屋さん(栗太郎)のポンポンパイがおいしい。お土産に喜ばれる。
- 栗太郎本舗のなると芋のおまんじゅうが最高
- ガトーアルル洋菓子店のブランデーケーキ
- アンプレシオンガトーシュクル店のケーキがおいしい。

## 金銀糸

- ★金銀糸が有名
- ★金銀糸がとても美しい

## お店

- パン屋さん(プルンニャ)の食パンがおいしい
- ピーターパンのパンが美味しい
- 城陽商店街の「パンの樹」パンがとてもおいしい
- ★もりた園の抹茶アイスがおいしい

## 飲食店

- 俺のラーメンあっぱれ屋のラーメン
- 屋台(ラーメン)
- やまびこの鍋焼きうどん
- グリル北川
- イルフィーコの飯が美味しい
- オリジナリティがある小売店が多いと思う

- 色々な食事処があるところ
- 実は有名なラーメン屋が多い。
- 飲食店が多いところ
- 旧24号線の飲食店の多さ(久津川)
- 城陽駅おりて5分程あるいた所にある将軍という居酒屋さん
- 寺田駅周辺の飲食街

## 施設資源

### 施設

- 文化バルク城陽(星と本と音楽好きなので)
- 文化バルクのプラムホール
- 文化バルクの資料館
- 城陽市内の図書館
- 家の近くに図書館があるところ。(文化バルク内)
- 文化バルク城陽の図書館の蔵書・システムが良い
- 市内の図書館の本が1箇所です借りられる
- 文化バルク内の図書館とふれあいホールでの催し物
- 文化バルクでのコンサート(近場で音楽が楽しいです)(自転車で行ける)
- 文化バルクでのプラネタリウム(星を見るのが好きです)
- 各コミセン色々なスポーツが出来て良い。
- 北コミセンの和やかで雰囲気の良いところ
- コミセンが色々と情報を発信してくださるので良い
- ひなたぼっこ(地域子育て支援センター)
- 鴻ノ巣山運動公園の遊び場
- 府立木津川運動公園(五里五里の丘)の子どもをはだして走らせることのできる原っぱ(よく遊びに行きます。)
- 木津川堤防散歩道
- 近くにある鴻ノ巣山と運動公園
- 鴻ノ巣山運動公園にあるスポーツセンター(ジム)は気軽に歩いて運動になるのでよい
- プラムイン城陽…風呂・すべり台
- 城陽カントリークラブ
- 市民プールが手頃で行きやすくて好きだ
- 京都サンガの練習場、サンガタウン城陽
- 友愛の丘
- 文化バルクの南側の「旬菜市」
- シルバー農園
- 北城陽中学校
- ★城陽カントリークラブは京都を代表するゴルフ場
- ★城陽カントリークラブ、東城陽ゴルフ倶楽部、オレンジゴルフセンターがいい
- ★スポーツがさかんです。健康的でいいです。
- ★運動公園があって健康に気をつけることもできる
- ★木津川堤防走りやすい





- ★ プラムイン、アイリスイン、体育館が利用しやすい
- ★ 一休温泉がある
- ★ 京都サンガの練習場サンガタウンがあるのでプロの練習が間近で見られてサッカー好きにはうれしい

## イベント

- 文化パークでの各イベント
- 冬のイルミネーションはきれいだと思います。
- 城陽市総合運動公園のイルミネーション
- 荒洲での寺田いも掘り
- 城陽酒造さんの蔵開き（梅まつり）
- 青谷の梅花祭等、地域由来の催しもの
- 青谷の梅まつりは毎年散歩がてら、春を感じに行きます
- 産業まつり
- 各コミセンのおまつり。
- ★ 木津川運動公園でイベントが色々ある
- ★ エコロベースの大会があったのしい
- ★ 行事が多く楽しい
- ★ 荒見神社で茶まつりやっている
- ★ 昔ながらのお祭が残っている
- ★ 城陽マラソン大会がある
- ★ お茶摘みが楽しい
- ★ 光のページェントがきれい。（他地域から来客がある）
- ★ 文化パーク城陽の催しが楽しい



## その他

### 子育て

- 文化パークなど無料で子供と遊べる場所があるのは助かります。イベントなど参加しやすい
- 文化パークのプレイルーム。子供と毎週のように利用しています。とても良い施設です。
- 広くて近くの公園よりキレイな木津川運動公園で子供と遊べる所
- 木津川運動公園 近所の公園ではボール遊び禁止の所が多いのでここだと自由におもいきり子供とボールで遊べるので。ピクニックもできていいです。
- 公園がたくさんあるので子育てには良いところだと思います。
- 子育てするには手厚いサービスして頂いてと思います。
- 主人を含め地元（城陽市）に残っておられる方が多い印象があります。地元で結婚し、子供を育ててらっしゃる＝環境が良いと感じています。
- 医療補助、小児病院、公園など、子育てしやすい環境である
- 運動公園でゆっくり孫と遊べるのが良い
- 図書室でも子どもが話をしながら楽しく本が読める（東部コミセンはしゃべると怒られる）

- 空気もよいし、子供にはいい所である。
- 子供の給食が中学までであること。
- ★ 子ども達のあそぶ場所が地域の中に確保されている（作られている）ことが良い
- ★ 少年スポーツのレベルが高い
- ★ 教育の中で1つの中学校区に2つの小学校があり均一化している

## 人々

- 人が親切
- 地域のお年寄り（おっちゃん、おばちゃん）
- 地域の人優しく安心できる
- 近所の人たちが仲良しでたいいてい人は顔見知り
- 人情が厚い地域で隣近所助け合って50年以上住んでいます
- 知人に商売をしている人が何人かいるが、商売している人達が良い人達で仲が良さそう。
- せまい道でも、ゆずり合いの精神がある（車運転時）
- 富野小学校の校長先生が朝の挨拶運動で積極的に挨拶して下さりフレンドリーだ。
- 城陽市図書館はよみきかせなど若者を含めて頑張っておられる。
- 図書館の司書さんはみんな良い人だった
- シルバー人材さんにお仕事を依頼して良かった、という人がいた
- 生協やユタカに親切な店員の方がおられる
- 人々の気持ちも温かく、暮らしやすい所だと感じています。
- ★ のどかで人々がおだやか
- ★ 住民参加が盛ん
- ★ お年寄りが元気
- ★ 子どもが礼儀正しい

## 環境・雰囲気

- 穏やか、のどかである事
- せかせかしていない所がいい。のんびり暮らしていけそう
- 観光のまちとしてゆっくりと成長しているのがいい
- 城陽市は小さい町なので、一体感を持ちやすい。
- 城陽全体がまったりしているところ。
- 町の中に昔の風景があること
- 町が平和で住みやすい
- 繁華街等なく、住宅地として静かで良い
- ベッドタウンなので夜が静か
- 緑多く静かな住宅都市であること。
- きれいなところ（ゴミ等があまり落ちていない）
- 緑が多くゆったりとしている。自然が多いのが良い。
- 物価が安い
- ごみの収集が無料というのはありがたいです。
- 田畑があるところ
- 公園が多い
- 運動できる所が多い
- 自然に近いのに生活が便利な所
- 自然豊か（梅やしょうぶの季節）
- 自然が多くて農作物（さつま芋、いちじく等）が美味しくて名産
- みどり・空地、空間が多い
- 空の高さ、緑の多さ、鳥ののどかさ
- 木津川の川原ののどかさ
- 散歩に良い所です
- 城陽市は緑がいっぱいで空気もおいしい

- 田んぼ等があり田舎だと思うが、スーパーやコンビニもあり田舎すぎないところが好き（どンドン埋め立てられているので田んぼがなくなってほしくないです）
- 都会過ぎず田舎すぎず、適度に環境が整っているので住みやすい
- ほどよく都会で田舎でのんびりしたところ
- 故郷への想いが一層懐かしく感じられる所ではある
- 適度に緑があり、交通の便も悪くなく、住みやすい
- 田舎の雰囲気が残っている（青谷地域が特に良い）
- 自然や農地が多く、牧歌的雰囲気である
- 緑が豊かで、安らかな気分になれます。
- 私が休日に運動するのに自然が多く、人が少なく、都合がよい。
- 住めば都。京都、伏見区から移り住みましたが、大都市でもないけど、とても気に入っております。
- 普通の生活には何も不自由なく住みやすい市だと思います。
- 気候が温暖だった（以前の事です） ※昭和末期に転入して来ました。
- 風土が瀬戸内風
- 冬はあたたかい
- 水道水がおいしい
- ★夜が静かなので落ち着ける
- ★台風などの被害が少ない
- ★暖かくて住み易い
- ★地下水が豊富 水がおいしい
- ★空気が美味しい
- ★星がたくさん見える

## 安全

- 犯罪発生が少ない
- 私の住んでいる所は災害が少ない
- これまで風水害が意外と少なかった
- ★死亡事故が少ない

## 交通・利便性

- 新名神のインターが近未来的な感じがして将来が楽しみに思う。
- 住宅街にもコンビニやスーパーなどがあり、交通の便もよく、とても住みやすい街だと思います。
- まちがコンパクトで生活に必要な施設が比較的近くにある。（手をのばせば届く）
- 生活の中で何でも物がそろそろ便利な街大き過ぎず小さすぎず程よい大きさの街
- 京都市に近く、奈良にも近いこと。（五里五里の里）
- 立地条件が京都と奈良の間にあり、適度な都市化と少しの自然が残っており、住みやすいところ
- 自然に囲まれた閑静な住環境であり、京都・奈良・大阪に出るのも便利
- 車で出掛けるときにいろいろな所に行けて良いと思います。（交通の便がよい）
- 近鉄、JRが利用できて外出に便利
- さんさんバス
- 生活には十分な施設が整っている
- プラムインなどの運動施設、文化パルク、コミュニティセンターなどの文化施設、病院、量販店などの設備が充実している。
- アルプラザ城陽が大きく、楽しい
- スーパー山田屋
- スーパーやコンビニが沢山あって老人にも買物がたのしみ

です。足が悪いので娘に車で連れてってもらったり、メモを渡して入用品を買って来てもらい、助かります。（アルプラザ、ライフ等）

- アルプラ、イズミヤなども近く生活に便利
- 駐輪場が充実しているところ
- 陽寿苑などの老人施設が整っていて色々楽しめる
- お米とか果物など新しい物が手に入るのがよい
- ★JRのみやこ路快速が止まる
- ★駅が比較的多い
- ★道路がきれい
- ★道路の便が良い
- ★陽和苑が楽しい

## その他

- 西城陽高校の合唱部
- サッカーが盛ん。
- イメージキャラクターが可愛い
- “五里五里”というネーミング
- ★新市街地や東部丘陵地など発展性がある
- ★将来に期待がもてる
- ★野球もサッカーも有名な選手がいる



# 事前アンケート結果

## 調査の目的

「城陽未来まちづくり会議（55人委員会）」は、1つのテーマについて交流と対話を行い、その意見を市民の声として行政への提案につなげ、また交流の場を通じて地域社会のつながり（コミュニティ）を高めることを目的に開催しました。

このアンケート調査は、城陽未来まちづくり会議を実りあるものとしていくため、無作為に抽出した市民1800人を対象に、会議への参加依頼とともにアンケート用紙（右）を郵送し、調査を実施しました。

## 調査の概要

- (1) 調査地域 城陽市全域
- (2) 調査対象 城陽市在住の満18歳以上の男女個人から無作為で1800人を抽出（平成28年7月1日現在）
- (3) 調査方法 郵送法（郵送配布—郵送回収）
- (4) 調査時期 平成28年9月
- (5) 回収数 334件（回収率 18.6%）

※グラフ中に出てくる「N=●」は有効回答数を表しています。集計結果はすべて、小数点第2位を四捨五入して、比率の合計が100.0%にならないことがあります。

## 【事前アンケート】

**第3回 城陽未来まちづくり会議 対象者アンケート**

このアンケートは、城陽未来まちづくり会議の開催にあたり、無作為に抽出いたしました1,800人の市民の皆さまを対象として、参加のご依頼とともにお送りしているものです。一昨年度から開始し、第3回目を迎える「城陽未来まちづくり会議（55人委員会）」を、市民の皆さまとともにより実りあるものとしていくため、趣旨をご理解いただき、ご回答いただきますようよろしくお願い申し上げます。

平成28年（2016年）8月 城陽市

---

**ご記入にあたってのお願い**

1. ご回答は、原則として封筒の宛名ご本人をお願いします。
2. ご記入は、鉛筆または黒のボールペンをお願いします。
3. ご回答は、質問1から順番にお答えください。
4. ご回答は、設問ごとにあてはまる番号に○印をつけてください。  
なお、「その他」にあてはまる場合は、その内容を（ ）内に具体的に記入してください。
5. ご記入が終わりましたら、返送用封筒に「参加承諾書」ともに入れて、郵送にて9月14日（水）までにご返送ください。（封手は不要です）
6. ご記入にあたり、質問などがありましたら、下記までお問い合わせください。

**【お問い合わせ先】**  
 城陽市 企画管理部 秘書広畑 担当：原、竹原  
 電話（0774）56-4051 FAX（0774）56-7774

質問1 全員にお伺いします。あなた自身のことについてお答えください。

(1) 性別を選んでください。  
 ①男性  ②女性

(2) 年齢を選んでください。  
 ①10～20歳代  ②30歳代  ③40歳代  ④50歳代  
 ⑤60歳代  ⑥70歳代  ⑦80歳代以上

質問2 全員にお伺いします。城陽未来まちづくり会議（55人委員会）の参加案内を最初にご覧になったとき、どのようにお感じになりましたか。最も当てはまるもの1つを選んでください。  
 ①面白そうと思った  ②興味がなかった  ③内容が分かりづらかった  
 ④その他（ ）

【裏面へ】

質問3 全員にお伺いします。今回のように無作為抽出の市民の皆さまに案内状をお送りし、参加者を募る方法について、どのようにお考えですか。最も当てはまるもの1つを選んでください。  
 ①多くの市民が参加の機会を得られて、よいことだと思う  
 ②関心のない市民にも案内が届くので効率的でないと思う  
 ③その他（ ）

質問4 全員にお伺いします。あなたは城陽未来まちづくり会議への参加を承諾されましたか。  
 ①承諾した  ②承諾しなかった

質問5 質問4で「承諾しなかった」とご回答された方にお伺いします。参加を承諾されなかった理由は何ですか。（複数回答可）  
 ①参加したかったが今回は都合が合わない  ②実施時間が長すぎる  
 ③テーマがわかりづらかった  ④会議そのものに関心なかった  
 ⑤土曜日は参加できない  ⑥謝礼が少ない  ⑦心身の不調のため  
 ⑧その他（ ）

質問6 全員にお伺いします。今後、城陽未来まちづくり会議で欲しいテーマはありますか。（複数回答可）  
 ①教育  ②子育て  ③環境  ④産業  ⑤防災・安全  ⑥道路・交通  ⑦都市計画  
 ⑧市民活動  ⑨高齢者・障がい者福祉  ⑩防災・防災  ⑪医療  
 ⑫自然・歴史・文化財  ⑬その他（ ）

質問7 城陽市の好きなところをあげてください。もの、人、風景なんでも構いません。  
 例) ○○店の△△菓子、文化パルクの季節の花（桜）、◇◇公園、図書館の司書さん、雑居ビル、  
 できるだけ具体的な記述をお願いします。●●が1箇所、▲▲が2箇所、

質問8 その他、ご自由にお書きください。

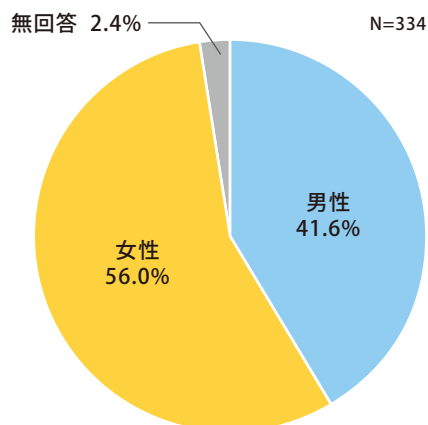
アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。  
 封筒の返送用封筒に「参加承諾書」ともに入れて、9月14日（水）までにご返送ください。



## 質問1 あなたご自身のことについてお答えください。

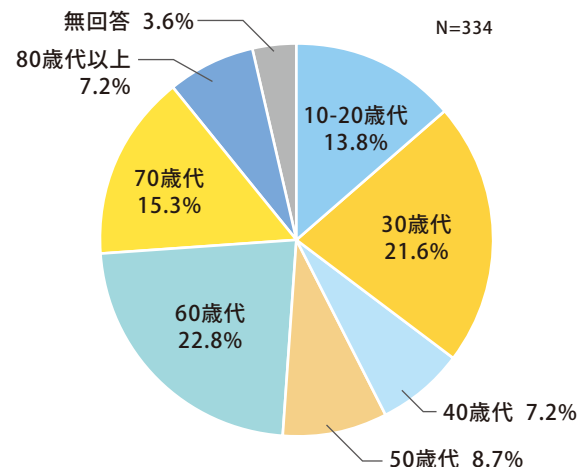
### (1) 性別

回答者の性別をみると、男性が41.6%、女性が56.0%で、女性の割合が高くなっています。



### (2) 年齢層

回答者の年齢層をみると、60歳代が最も多く22.8%、次いで30歳代が21.6%、70歳代が15.3%、10-20歳代が13.8%の順になっています。

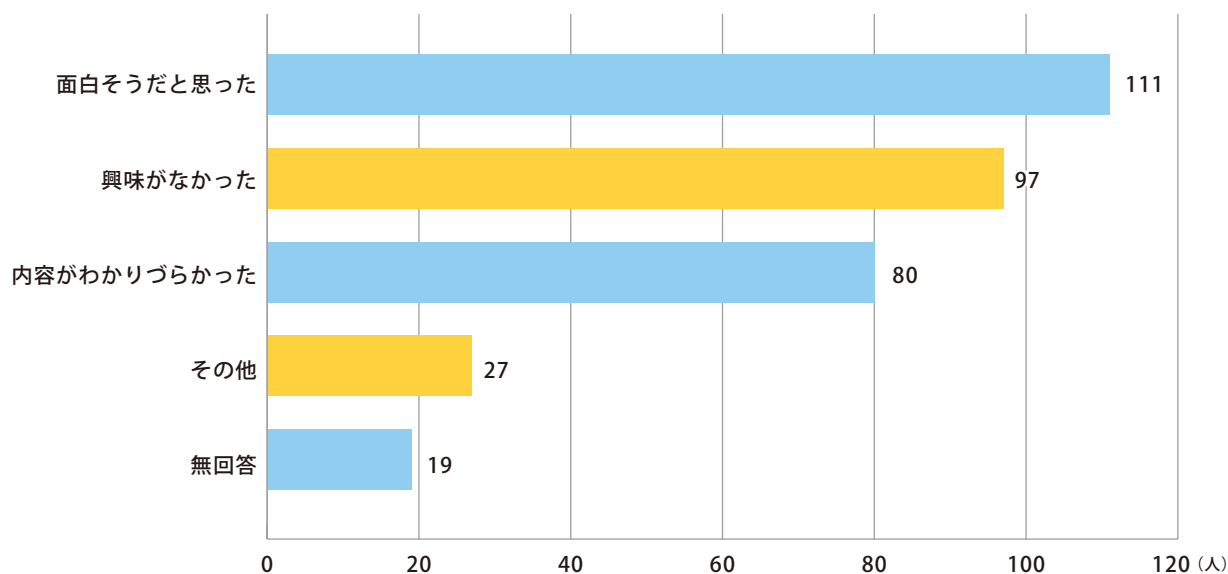


## 質問2 城陽未来まちづくり会議（55人委員会）の参加案内を最初にご覧になったとき、どのようにお感じになりましたか。

「面白そうだった」と回答した方が111人と最も多く、次いで、「興味がなかった」と回答した方が97人、「内容がわかりづらかった」と回答した方が80人となっています。

その他の主な意見は、以下のとおりです。

- 若い人の意見を聞いた方がいいと思った。
- より良い城陽市になってほしい!!
- 町づくりにどのようにいかされるのかわからない。
- 発展して欲しいと思った。



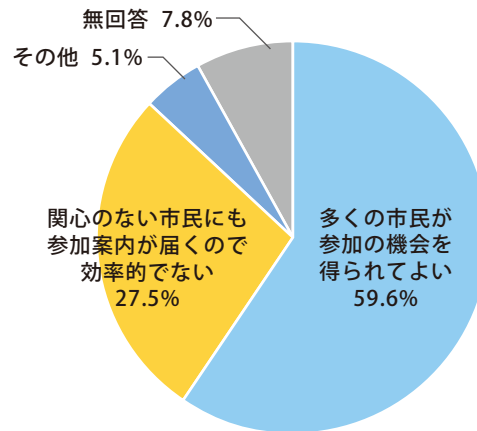
## 質問3

今回のように無作為抽出の市民の皆さまに案内状をお送りし、参加者を募る方法について、どのようにお考えですか。

59.6%の方が「多くの市民が参加の機会を得られてよい」と回答したのに対し、27.5%の方が「関心のない市民にも参加案内が届くので効率的でない」と回答しています。

その他の主な意見は、以下のとおりです。

- 年齢の若い方がよいのでは。
- 関心のある市民に対しては、抽出されなければ参加出来ないのは残念だと思う。
- 「市民新聞」などを通して城陽市民全員を参加の対象としたらよいと思います。

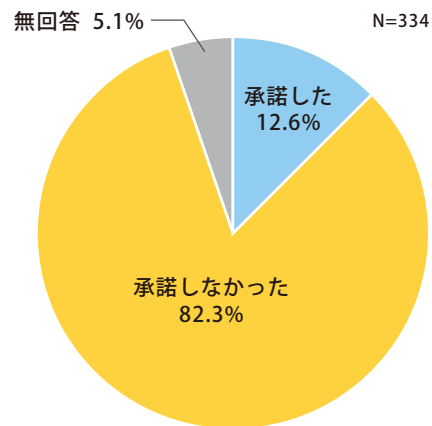


## 質問4

城陽未来まちづくり会議（55人委員会）の参加を承諾されましたか。

12.6%の方が「承諾した」と回答したのに対し、82.3%の方が「承諾しなかった」と回答しています。

N=334

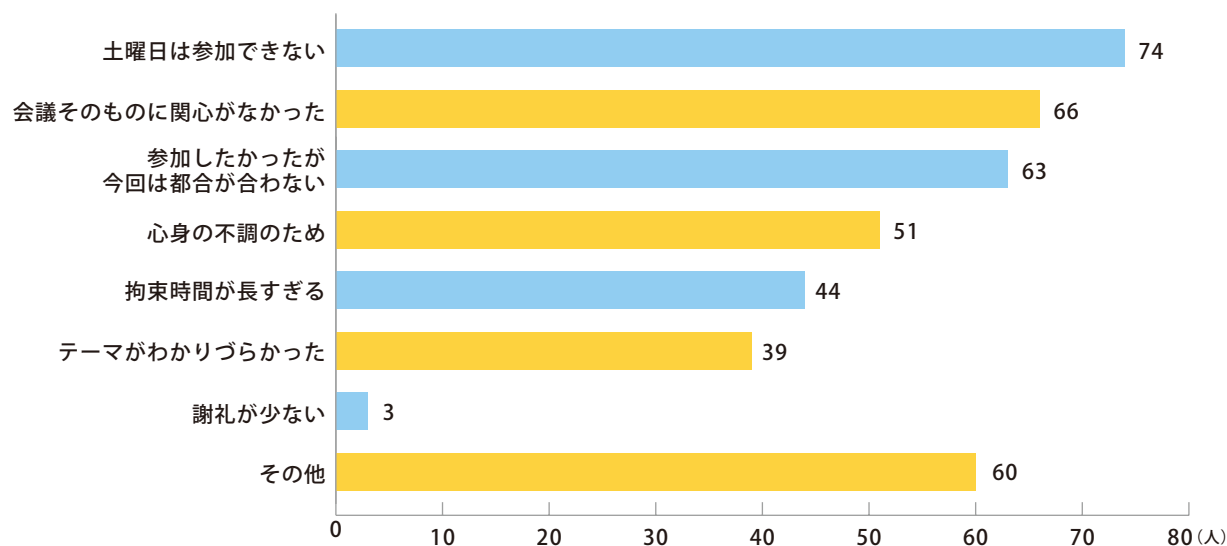


### 質問5 参加承諾をされなかった理由は何ですか。(複数回答)

最も多かった理由が「土曜日は参加できない」で74人、次いで「会議そのものに関心がなかった」が66人、「参加したかったが今回は都合が合わない」が63人となっています。

その他の主な理由は、

- 参加しても何をしたらいいのか分からないので。
- 城陽市の魅力はよく知らないから。
- アイデアが出せるか、自信がない。
- 開催日は農繁期。

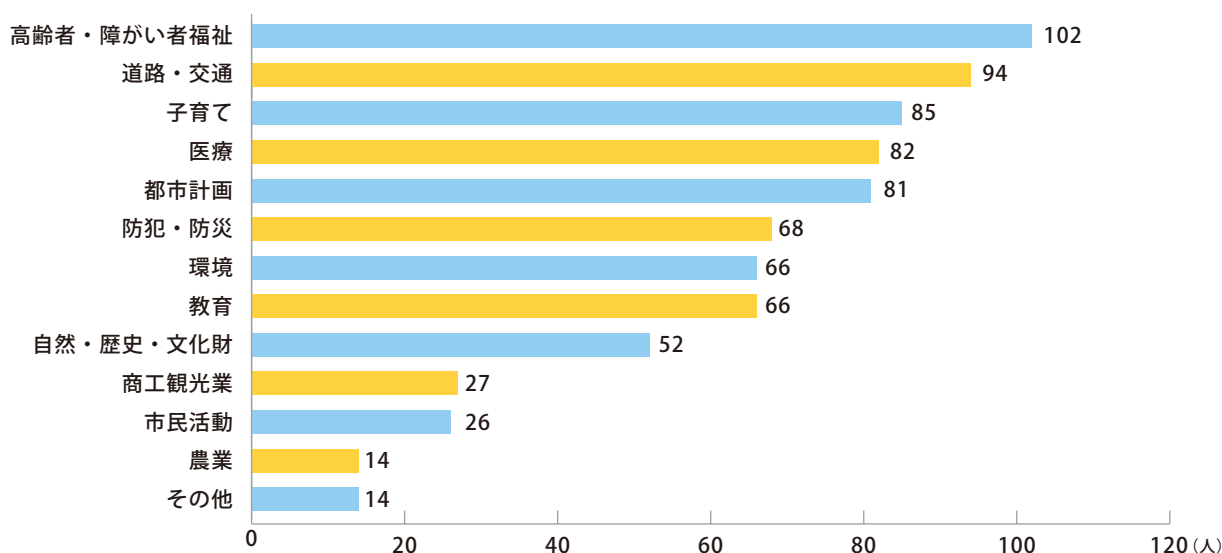


### 質問6 今後、城陽未来まちづくり会議で扱ってほしいテーマはありますか。(複数回答)

「高齢者・障がい者福祉」が最も多く102人の方が回答しています。続いて、「道路・交通」が94人、「子育て」が85人、「医療」が82人、「都市計画」が81人となっています。

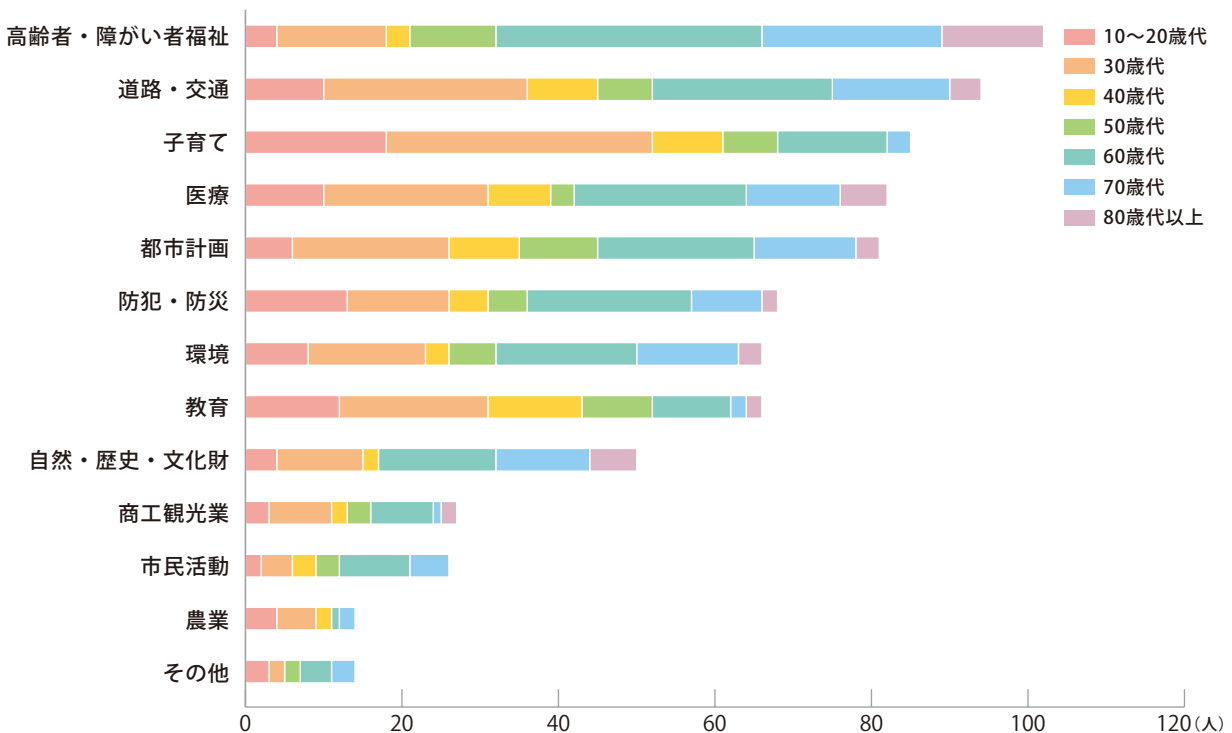
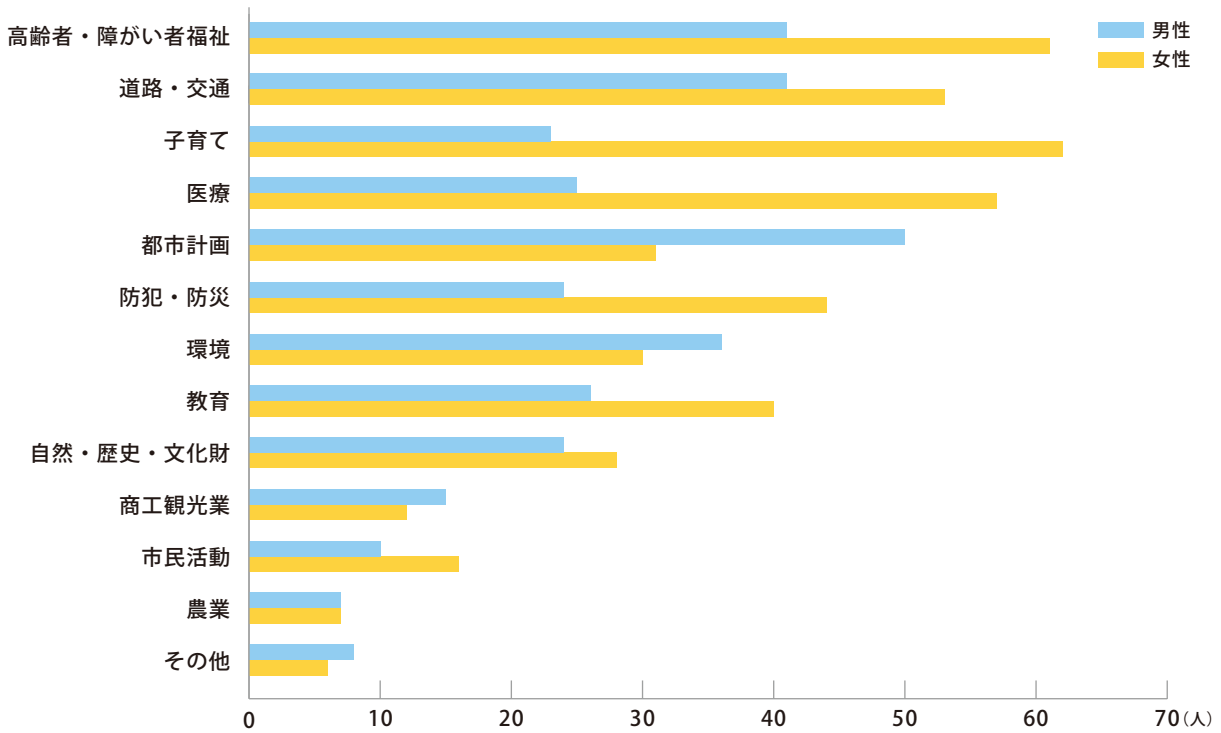
その他の主な意見は、

- 町おこし。地酒・名産など。
- 地域コミュニティと行政の連携。
- 施設間の有機的なつながりの強化。
- スポーツ、健康づくり。





今後、城陽未来まちづくり会議で検討したいテーマを性別、年代別に集計しました。



性別で見ると、女性が子育て、医療、防犯・防災、教育などのテーマに対して関心が高いのに対し、男性は都市計画や環境への関心が高くなっています。また、環境や自然・歴史・文化財、商工観光業、市民活動、農業などのテーマは性別による関心の差はさほど大きくありませんでした。

30代までの比較的若い世代では、子育てや教育などのテーマに関心が集まっており、60代以上の高齢世代では、医療、防犯・防災などのテーマに関心が集まっています。都市計画や環境などのテーマは、どの世代も一様に関心があることが伺えます。

## 質問7

## 城陽市の好きなところをあげてください。

もの、人、風景なんでも構いません。 →資料集 69ページから73ページに掲載

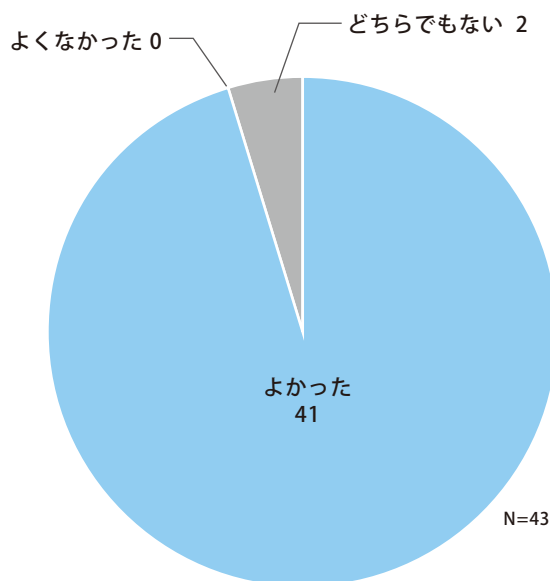
## 質問8

## 自由意見

- この街をラーメンの街で売り出せば良い。
- 今年城陽に引っ越してきたばかりなので、城陽市の事をもっと知ってみたいので、参加したいです。
- 第二名神道路完成により発展していくのであれば良いが、単なる通過場所になってしまわないよう、魅力的な市となる政策を実施してほしい。
- 城陽の地に来て50年、これといった災害もなく、住みやすい土地です。又、町並みがゴタゴタしてなくて、空気が汚れていない、いい匂いがする。
- 町の中を歩いていてもまだまだ自然が多く、道路を考えて下されば小さい子供さん達ものびのびできるのでは？城陽に住んで50年。西は木津川、南は奈良の方まで美しく見えました。とんがり山もあり、今ではよい思い出です。古い神社でも大切にして下さい。
- 古墳がいくつかあるとの事ですが、体験(昔の暮らし)などが出来る家屋などがあればいいと思います。先人の知恵をもっと知り、現代の暮らしにも生かせたらすばらしいと思います。Ex.ワラで〇〇を作る、昔のおもちや etc…
- 城陽の山を利用しての長池→木津川運動公園→鴻ノ巣山→太陽ヶ丘を歩くコースの整備を。
- 京都市内へも奈良市内へもあまり遠くなく、わりに静かで住みよい町だと思っています。子供の頃、近鉄の鉄橋の下で遊泳をしていましたが、今は禁止なのですね。
- インターチェンジができるようで、より城陽に他から人が来てくれる催しや体験できることを発信してほしいです。
- 人口減少社会での城陽市の成長戦略をとって、交流人口だけでなく、定住人口の増加の取り組みも必要と思います。
- 温故知新、歴史ある城陽 古墳、史跡を大切に。村→町→市の成り立ちを子供達に教えることが大事と思う。住人がこの地を一番先に好きになることが第一!!
- 城陽市の自然豊かな部分を大切にしたい、歴史ある町づくりが大切でないかと私は思っておりますので、その視点から見ながら20年～30年先を。子供達の住む町を考えてほこりを持ってバトンタッチができる町作りがしたいものです。
- “エコミュージアム”という着眼点は素晴らしく、明確な目標のもとに活動しやすいコンセプトだと感じる。一方で、成功の鍵を握るのは“全国に知名度の高いランドマーク”であると思うので、それが現存しない実情に鑑みて厳しいプロジェクトだと思う。同じ市税を投じるのであれば教育、福祉に力を入れて、“住みやすい街・城陽”をコンセプトにしたほうが住民の理解も得やすいと考察する。
- 今後、新名神高速道路等により、新しいお店等ができると聞いていますので、それに見合った市の都市整備を期待しています。
- 城陽のお祭り等の時は、人が集まりますが平日は寂しい。小さなイベントを数回やるようにして、地域全体で盛り上げられたらと思います。いろいろな年代の方が楽しめるような催し、等。
- 外国人観光客の農業体験(芋掘り、梅)後の食事・宿泊を通じた交流促進
- 城陽市の素敵な所をずっと残して行ってほしいです。住みやすい街であってほしいです。
- 大学の誘致。山城郷土資料館の移転誘致等を行い、城陽市存在感を高めよう。
- 1回目のエコミュージアム研修会が参加できませんでしたが、次回は参加してみたくなりました!
- 城陽市からこのような未来まちづくり会議についての案内が自分に届くまでは、住民・市民が参加できる会議が存在するのを知りませんでした。会議についても元々知っていて、自分から参加しようとする意欲的な市民だけでなく、案内状が届いたから興味を持ったという市民にも参加を呼びかけることができるこのシステムはとても良いと思いました。
- 田舎感を無くさないよう、住み心地の良い街になれば良いなと思います。

# 城陽未来まちづくり会議参加者のアンケート結果

## 城陽未来まちづくり会議55人委員会に参加してみて



## 城陽市エコミュージアムについての感想や意見

### 1 今後の城陽市エコミュージアムについて

#### 城陽市エコミュージアムづくりに向けて

- 本日参加して、城陽の魅力はとてまたくさんあることに気づきました。エコミュージアムでは、それらをつなげていくことが手法ですが、城陽市の現状では、既にある理想に向かう以外の方法も有効かと感じました。伝える側もそうですが、受け手側も受ける情報には限度があります。幕の内弁当のようにすべて並べてしまい、結果的に何の魅力もないものにならないようにしなければなりません。城陽の持つ、強い固有資源を見定め、集中投下、一点突破を図り、戦略的に他の魅力も徐々に伝えていくことが「城陽式」かと思われました。
- 城陽について歴史だけでなくスポーツ、文化、音楽、芸術多岐に渡って記録保存していく事が大切だと思いました。足跡ですかね。

- 歴史的な雰囲気がない城陽でエコミュージアムを構成することは非常に難しい気もするが、(パリ等の先輩都市等)古墳群がある街もあまりないが…もう少し古墳群の説明文がほしい。エコミュージアムの方向性を見出すことより始めたい。
- エコミュージアムづくりを進めていくにあたっては、本当の意味でのミュージアムからイメージが少し離れているような気がしました。
- 資源の活用等、今後も深く掘り下げ、いろいろなアイデアを出し、試行などを含め実施してみることも必要では。

#### 城陽市エコミュージアムへの期待

- 色々なアイデアが出て、市民からの意見を集めることは、新たな事柄を生み出す。



- エコミュージアムの案がたくさん出された中で、実現出来る事があったら嬉しく思います。今日の参加で又、新たに城陽の事が分かり、又、何かあれば協力したいと。
- この話し合いで何か動きがあれば嬉しい。それがあればまた参加したい。
- エコミュージアムについてはこれからどんな活動をしていくのか、この会議に参加することで非常に動向が楽しみ。
- 城陽の良いところを広く発信し、活気のある街にしていくためには、このエコミュージアムという考え方はすばらしいと思うので一つでも二つでも、いろいろな企画を形にしていて欲しいと思う。
- エコミュージアムづくりをこれからより発展させて、よりよい城陽の街にしていけたらいいなあと思いました。

## 2 会議の運営に関して

- 適度な時間配分だと思いますが、作業を行っている、あっという間に時間が過ぎてしまいました。最後の企画のプレゼンテーションなどは良かったと思います。
- 参加するにあたり、不安や心配がありました。進行役等のお陰で無事参画できました。
- 無作為抽出で参加者を選ぶのはとても良いと思いました。また、市の職員の方や、今回のお世話係の方は今回の会議で生まれたメモやふせんの内容も残しておいて、思いつかないようなアイデアを保存しておいたり、それからさらにアイデアを考えるなど工夫していただけたらなと思いました。
- 普段思いつかない様な考え・アイデア etc をグループ内の会話から知ることが出来て良かった。この方向で進めれば良いと思う。
- いつも話している歳が変わらない人達とのグループワークではなく、歳の離れた方とグループワークが出来て、自分には出来ない発想、若者からは出ない発想等、様々な意見をもらえたのでとても楽しく過ごすことが出来ました。
- 普段、接する機会のない年齢、性別の方々と意見交換することは難しかったです。ただ、皆さん、城陽市を良くしたいという方々ばかりでしたので、非常に楽しく参加できました。
- 特に世代や職業の違う方たちと意見交換することで自分では気づけないことにも違う角度から考えさせてもらえました。
- 事前資料と、実際の会の内容にギャップがあったように思います。もっと硬いイメージで、市内の資産をどう生かすのか、といった事をするのかと思っていましたが、ふたをあけてみればそんな事はなく、ラフな感じのプレストでした。

### 3 市政に関して

#### 政策への反映について

- 意見を聞くだけでおわず、現実に取り組んでいただけたら、今日という1日が意味があったなと思えるので、がんばってほしい。
- ぜひ「スイーツマラソン」を城陽でも行って頂きたいです！(いちじく or 芋の時期に)もし開催されたら、市外の友人も誘って参加しま〜す。
- 実現できるかどうか不明な企画もあったが市の職員様や市民が協力し城陽市がメジャーな地域になってくれれば市民として誇らしいと思う。
- せっかく色々な意見が出たので、城陽市の知名度が高まるような企画につなげてもらいたいです。
- 現実的にどうなるのか、楽しみにしながら生活していきたいですし、市のことに興味を持ちました。
- 思いつかなかった城陽市の良いところを色々聞いてよかった。
- 城陽の既存にあるものに何かを足して、他の市にはないインパクトのあるものにして欲しいと思います。
- 城陽をもっと盛り上げていく上でも、インパクト・意外性という点を重視していけば、話題にも観光資源にもなっていくと感じます。
- 人を集まるためにはどうすべきかを考えていくことが重要と思いました。地元民はやさしい人が多いので、治安は守る必要がありますが、人を増やすことを両立して欲しいです。
- 城陽市の課題(おくらしている所、箇所)など、盛り上げて、その課題を一つ一つ解決していくことが、市の成果発展につながるのではないかと。城陽をもっともっと全国にアピールする必要がある。
- 城陽市で中心になるものが無いと思います。
- 城陽市未来まちづくり会議は国の地域創生を受けて、立ち上げられたと思うが、人口減少に対する取り組みも必要と思う。
- 大きな災害がこれまでなかったが、今後はどうなるかわからないところがあり、災害での「クロスロード」(神戸ではされている)も実施されたらよいと思う。
- 各市町村にとっては少子・高齢化は避けて通れない課題である。今日のような企画提案はよかったと思う。同様に高齢者の対策(独居老人の見張り、緊急時の避難、日常の買物の手伝い等)をテーマとするのも一つと思う。

#### その他

- 城陽の特産物等たくさんありますが、どこで買ったりどこへ行けば良いのかが分かりにくい現状です。車が駐車しやすく、分かりやすい場所での道の駅的な場所があればと思います。そこでPR的な配布物を掲示したり、マップ等が置いてあればいいと思う。
- 城陽はいい所と思いますが、「見せる」という点においては整備が全くされていないと思います。

## 4

## 全体的な感想

- 老若男女が集まり、アイデアを出す作業が非常に新鮮で刺激になりました。また、城陽で働く身として地域活性化について再度考えることができました。
- 今日参加できてよかった。新しい人との出会い、城陽の良さが更にわかった。
- 城陽の魅力について語る場なんて普段ないので、多角的に城陽を見直すよい機会だった。
- あまり城陽の事を知る機会がなかったので、今日参加させてもらって良かったです。
- 城陽には資源が多く、魅力的な街であることを改めて考える良い機会でした。
- まだ知らない城陽の良い所を知れたり、他の方のおもしろい企画に触れたりできて、城陽のことをもっと好きになれました。今日参加できて良かったです。
- 最近引っ越してきたばかりなので、城陽のことが色々知れて、とても良かったです。城陽に越して来る人は、結構居ると思うので(ベッドタウン・学校が多いので)そういう人向けにも、この会議はとても良かったと思います!! ありがとうございます!!
- 自分の今まで住んで来た町に対し、今までどんな感じだったのか、これから、どのようにしていくのかを話し合えたので、とても良い交流が出来ました。
- 城陽市にずっと住んでますが、知らなかった事もたくさんあり、とても面白かったです。城陽市には良いところがたくさんありますが、それをつなげていくのは大変な事だなあと、思いました。
- 企画を作る場面では、様々な方の多種多様なアイデアや考えにふれ、とても参考になった。
- 若い方の自由な発想をととても楽しく、企画作成も大変勉強になり、よい一日でした。
- 未来に向けてよい街づくりになることを希望しています。子供・孫の代になにか残せるものができる事が親の世代の役目と思い、参加しました。おつかれさまでした!
- 久しぶりに多面的に何かを考えることができ、楽しかった。勉強になった。
- ちょっと想像していたものと違った。イベント企画を考えるのではなく、城陽の人口を増加させるためにどうしたらよいか、住民の生活を良くするためにどうしたらよいかを考えると、自然を活かした無料のテーマパークを作る”くらいの気持ちでいた、やはり文化だけでは人は増えない。難しいと思う。





城陽未来まちづくり会議（55人委員会）  
報告書

平成29年（2017年）1月

【編集・発行】

城陽市 企画管理部 秘書広報課

〒610-0195 京都府城陽市寺田東ノ口16番地、17番地

TEL 0774-52-1111（代表）

FAX 0774-56-3999



